



2026年12月期 第2四半期決算説明資料

株式会社フツパー

東証グロース市場 (478A) 2026.8.12

KPI実績（2026年12月期 2 Q）

POINT

売上高は560百万円（前年同期比+20%）、営業利益率は5%の27百万円（前年同期は130百万円）と概ね当初の業績予想通り進捗。

「GENIAC」の採択等により一時的に継続顧客売上高比率は減少。一方で、受注残高は1,039百万円となり、通期の業績達成に向けて着実に積上げ。

売上高

560百万円

前年同期比+20%

（前年同期は467百万円）

営業利益

27百万円

営業利益率 5%

（前年同期は130百万円）

受注残高

1,039百万円

前年同期比+81%

（前年同期は573百万円）

取引社数

※各期で累計

139社

前年同期比+40社

（前年同期は99社）

継続顧客売上高 ※2

294百万円

前年同期比▲20%

（前年同期は366百万円）

ライセンス収入 ※1

59百万円

前年同期比+47%

（前年同期は40百万円）

※1 ライセンス収入：AIプロダクトの月額利用料の合計（主にメキキバイトのHutzper Insight、スキルパズルの利用料）

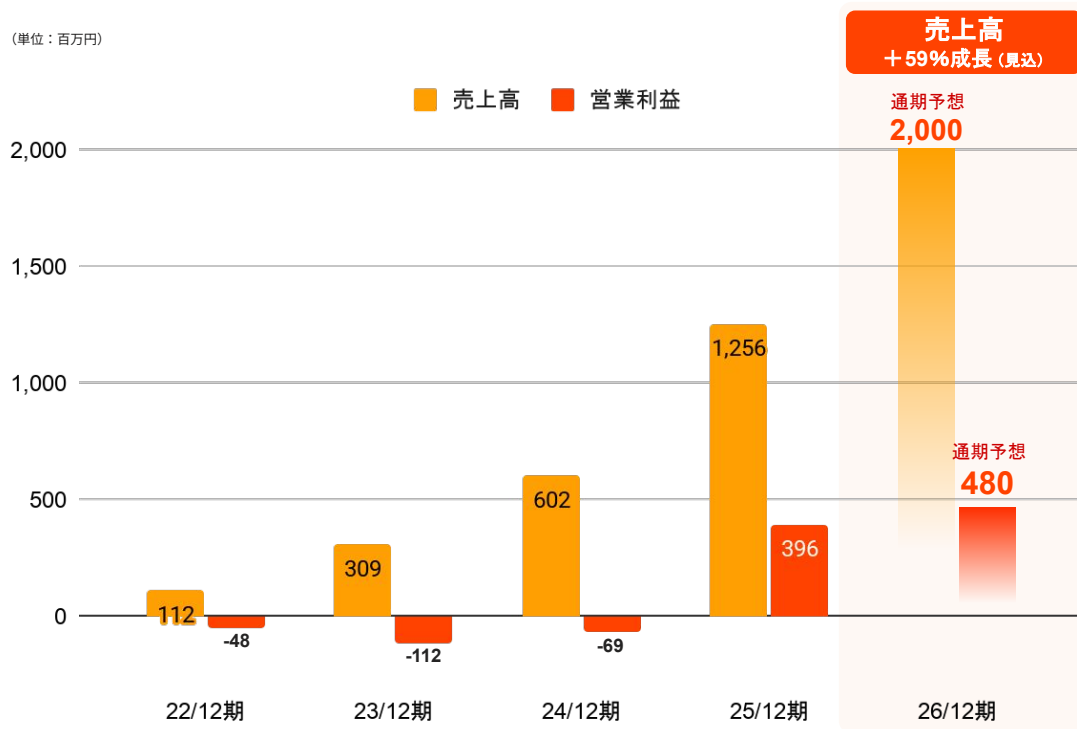
※2 継続顧客売上高：当該年度の売上高 - 当該年度のライセンス収入 - 当該年度の新規顧客売上高

新規顧客売上高は当該年度のライセンス収入を除く新規顧客（過年度に取引のない顧客）からの売上高

主として過年度に取引した顧客からの別の製造ラインにかかるAI構築や過去実施した分析案件の次フェーズの売上等より構成される。

下期偏重となる傾向は続くも、売上高は右肩上がりの成長を維持。
先行投資を推進しつつ、収益性の確保を両立。

(単位：百万円)



売上高成長率(見込)

+59%(26/12期 通期)



通期営業利益(見込)

480 百万円



売上高成長継続

顧客からの受注を中心に、新規顧客の獲得も着実に積み上げ安定成長を実現。売上高成長率は59%を見込む。



安定した黒字体制

2025年12月期の黒字化以降、中長期の成長へ向けた先行投資を実施しながら収益性の確保も同時に実現。
今後も売上拡大に伴い、増収増益を見込む。

資料目次

- 1** 2026年12月期 2Q実績
- 2** 2026年12月期 業績予想
- 3** 成長戦略
- 4** Appendix

1 2026年12月期 2 Q実績

2 Qの実績について

1 2026年12月期 2 Q実績

2 2026年12月期 業績予想

3 成長戦略

4 Appendix

2026年12月期 2 Q損益計算書

業績は予想通りに進捗。人件費を中心とした積極的な成長投資を継続。

(単位：百万円)	2025年12月期 2 Q実績	2026年12月期 2 Q実績	増減額	増減率
売上高	467	560	+92	+20%
売上原価	142	181	+39	+28%
売上総利益	325	378	+53	+16%
↳ 売上総利益率	70%	68%	—	▲2pt
販売費及び一般管理費	195	351	+155	+80%
営業利益	130	27	▲102	▲79%
↳ 営業利益率	28%	5%	—	▲23pt
経常利益	138	33	▲105	▲76%
当期純利益	118	22	▲96	▲81%

売上高

顧客基盤の拡大及び既存顧客からの継続受注により、売上高は560百万円と予想通り進捗。3Q以降に「GENIAC」をはじめとした大型案件の納品を控えており、通期業績達成に向けて継続して注力。

売上原価・売上総利益

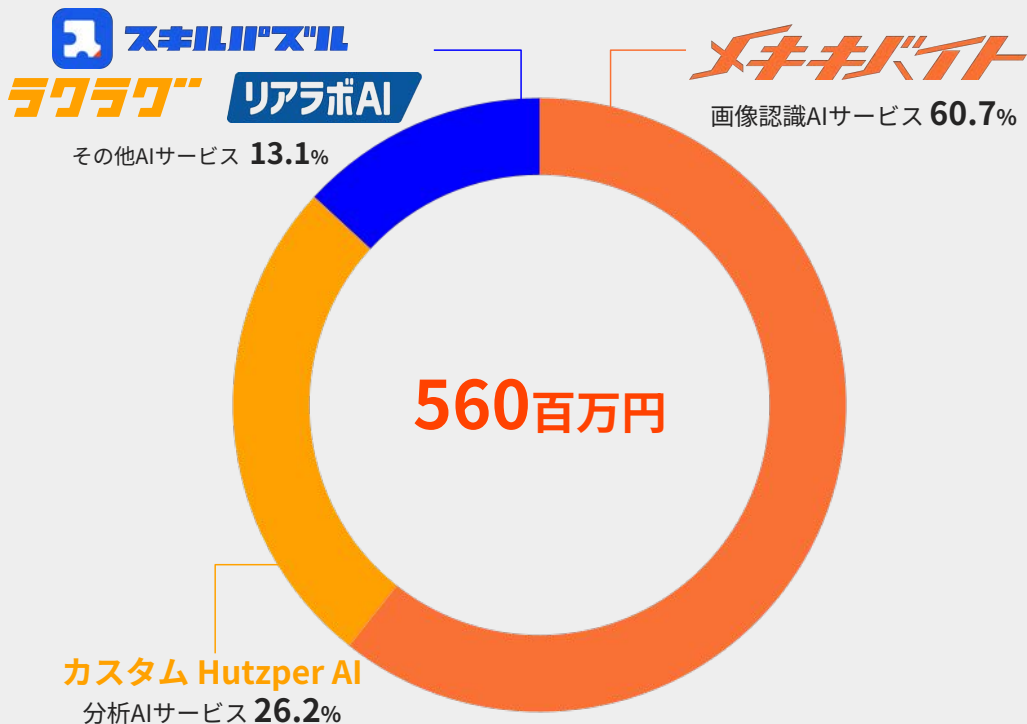
案件数の増加に伴い売上原価が増加したものの、粗利率は引き続き高水準を維持。

販管費・営業利益

体制強化に伴う組織拡大や新規顧客獲得に向けた展示会出展等の成長投資を継続。投資は計画通り進捗しており、獲得した人材及びパイプラインは下期以降の業績拡大へ寄与する見込み。

売上高のサービス別構成

(2026年12月期 2Q実績)

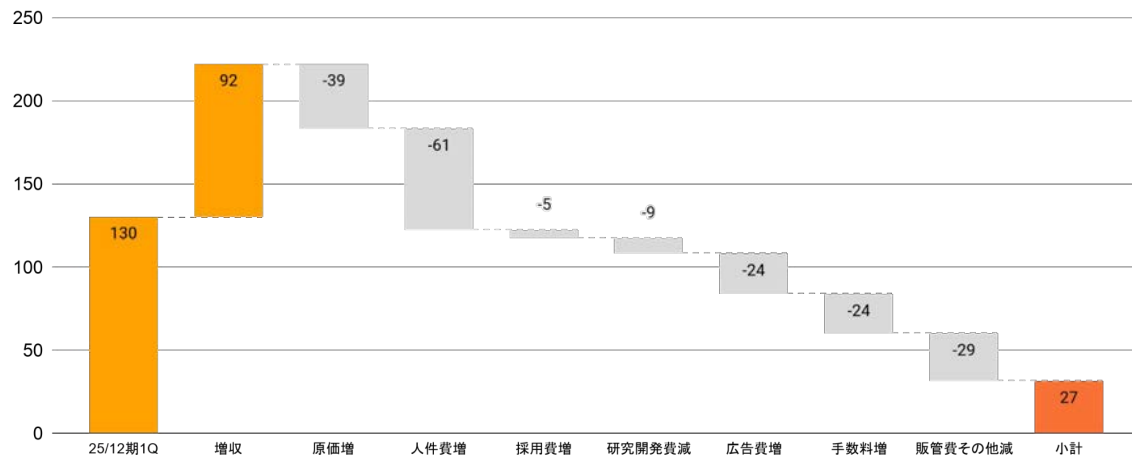


POINT

「メキキバイト」を中心に画像認識AIサービスが全体の6割を牽引。残りをエンタープライズ向けの分析AIサービス、新規商材を中心としたその他AIサービスが占める構成となっており、今後も同様の傾向が続く。「リアラボAI」は3Q以降の売上計上に向けて順調に進捗。

2026年12月期 2Qの営業利益の主な増減内訳

(単位：百万円)



売上総利益

売上高が前年同期比+20%となった結果、売上総利益は53百万円の増加。

販売費及び一般管理費

人件費を中心とした成長投資を継続により販管費が155百万円増加。その結果、営業利益は27百万円で着地。

(単位：百万円)

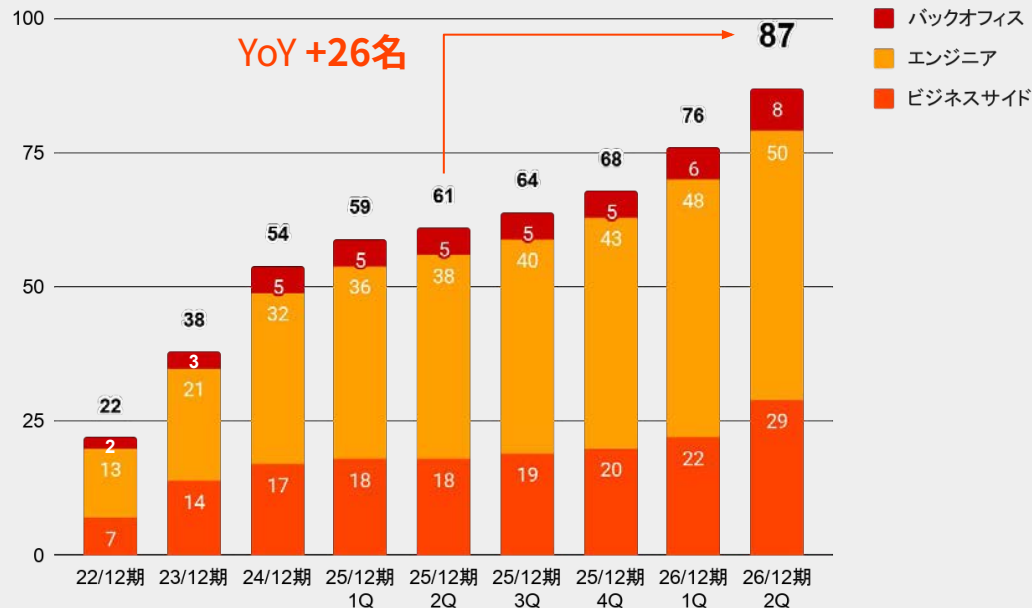
	25/12期2Q	26/12期2Q	前年同期比	主な要因
人件費	109	170	+61	従業員の増加
採用費	1	6	+5	従業員増加に伴う採用費
研究開発費	21	31	+9	新製品、新機能の開発
広告費	8	33	+24	複数展示会への出展
支払手数料	24	48	+24	従業員数の増加、CRMツールの導入
その他経費	30	59	+29	関東支社移転に伴う賃料増加、減価償却費の増加
販売費及び一般管理費 合計	195	351	+155	

正社員数の推移

POINT

サービスの安定供給および継続的なプロダクト開発のため、エンジニアを中心に各部門バランスよく採用活動を継続。

(単位：人)

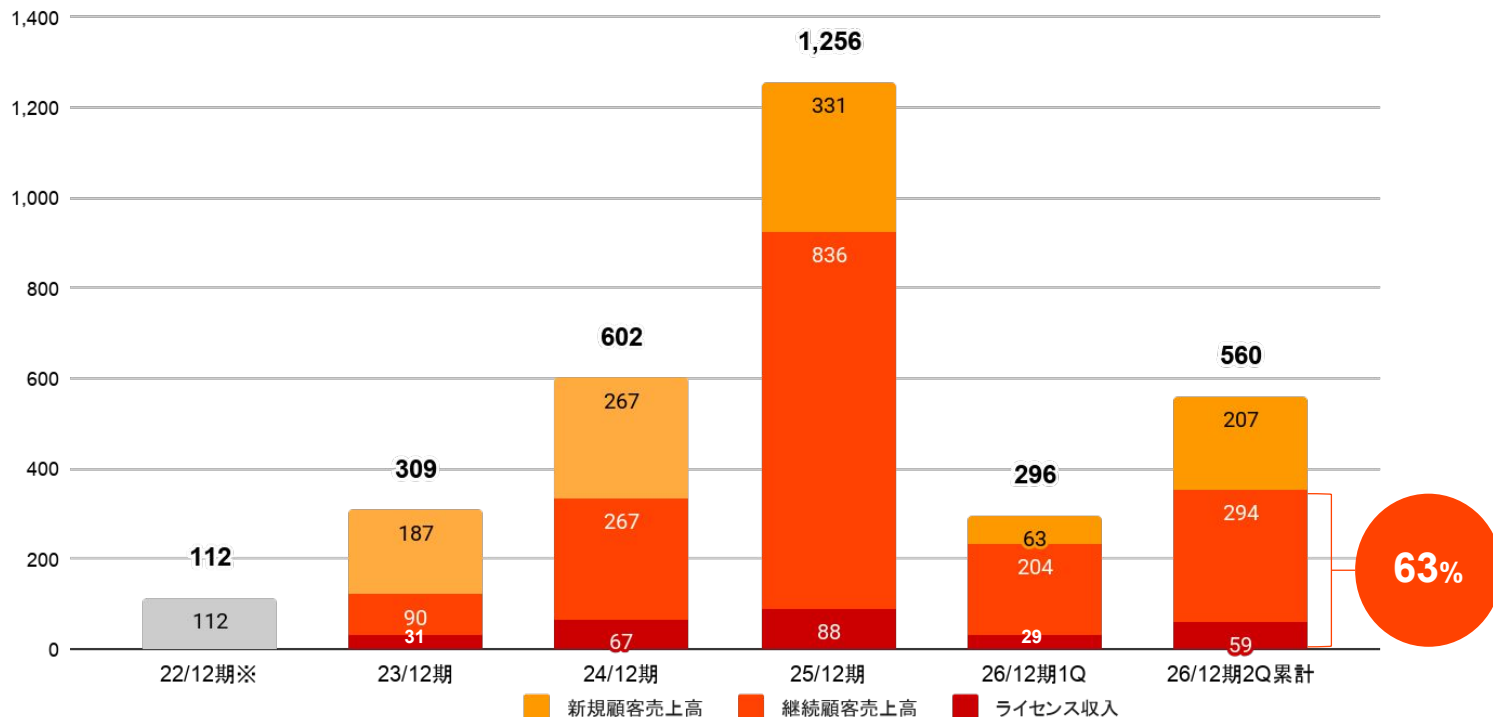


※ インターン・アルバイト除く

継続顧客売上高及びライセンス収入の推移

「GENIAC」等により新規比率は一時的に上昇を見込むが、
継続顧客売上高・ライセンス収入ともにバランスよく積み上げ。

(単位：百万円)



※ 2022/12期は決算期変更につき、9ヶ月間の実績

メキキバイトのサブスク解約率

(単位：%)

3.00%

2.00%

1.00%

0.00%

創業以来低いチャーンレートを維持
直近3年間の平均月次解約率**0.72%**



市場定着が進み、解約率は**0.35%**
プロダクトへの信頼が拡大

解約率 ※1

0.35%

(2026年12月期 2Q時点の12ヵ月平均)

主な解約ケース

- 対象製品の生産終了
- 投資期間の制約や業績悪化に伴う中止
- 特定品種や項目の追加等に伴う計画変更

...etc

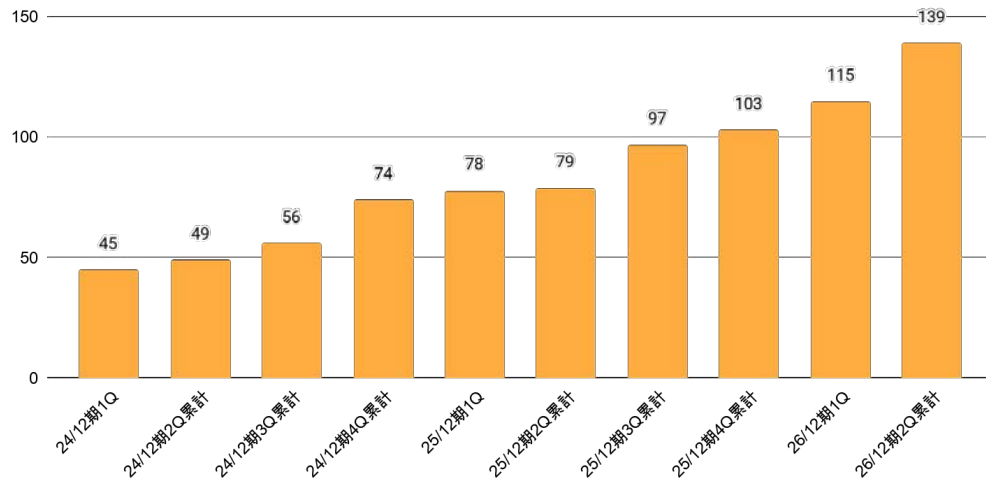
※1 月中の解約額 ÷ 前月末のライセンス収入 × 100 (%) の対象期間12ヵ月の平均

※2 解約額及びライセンス収入は「Hutzper Insight」の金額を集計しております

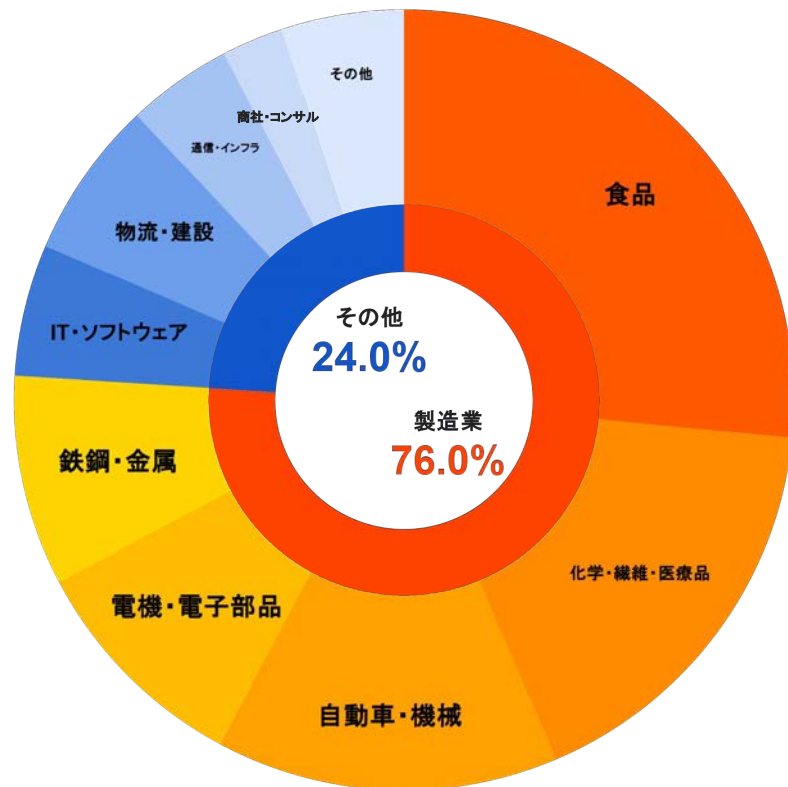
取引社数の推移

四半期ごとの取引社数は年々増加傾向。
製造業を中心に、幅広い業界にサービスを展開。

取引社数推移

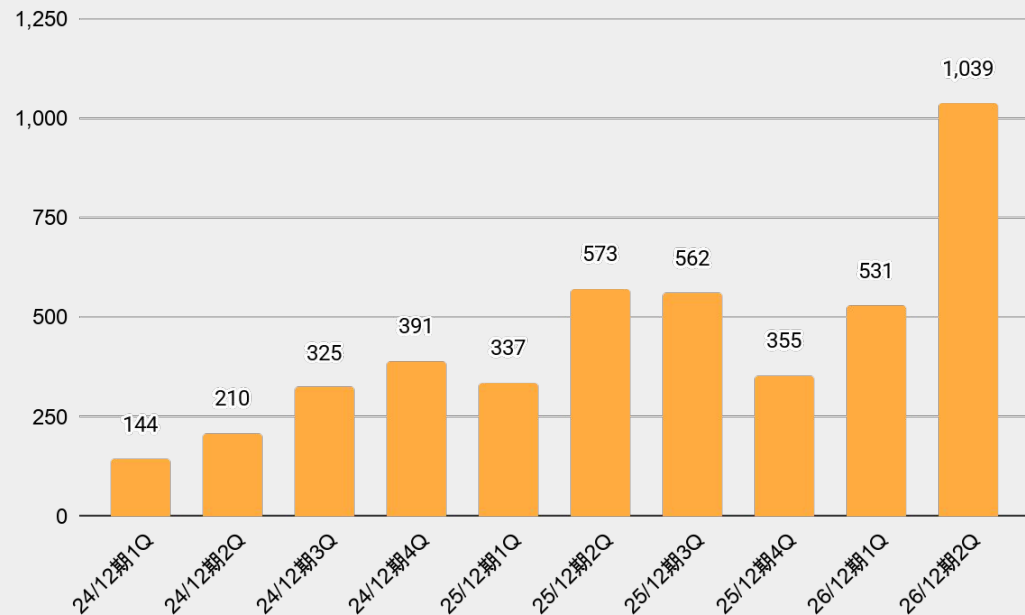


取引社数の業界別内訳



受注残高の推移

(単位：百万円)



POINT

「GENIAC」の採択等により、受注残高は前年同期比466百万円増加の1,039百万円で着地。

継続顧客からの受注は例年2Q～3Qに集中する傾向にあり、3Q以降も複数の大型案件の受注を見込む。

2026年12月期 通期売上高予想

通期業績予想は現時点で据え置き。3Q以降の売上高は受注残高10.39億円に加え、ベースとなるライセンス収入の拡大及び継続受注案件の納品を予定。

通期業績予想 (単位:百万円)

↗ 2,000

2Q実績 (単位:百万円)

560 進捗率 (28.0%)

POINT 通期計画達成に向けた見通し

① 強固な受注残

「GENIAC」の採択もあり前年同期比+81%で着地。当期納品予定分が順次、売上へ貢献する見込み。

② 安定したストック収益

新規受注だけでなく、受注残とは別に既に契約済みのサブスクリプション等による安定した見込みライセンス収入がベースを下支え。

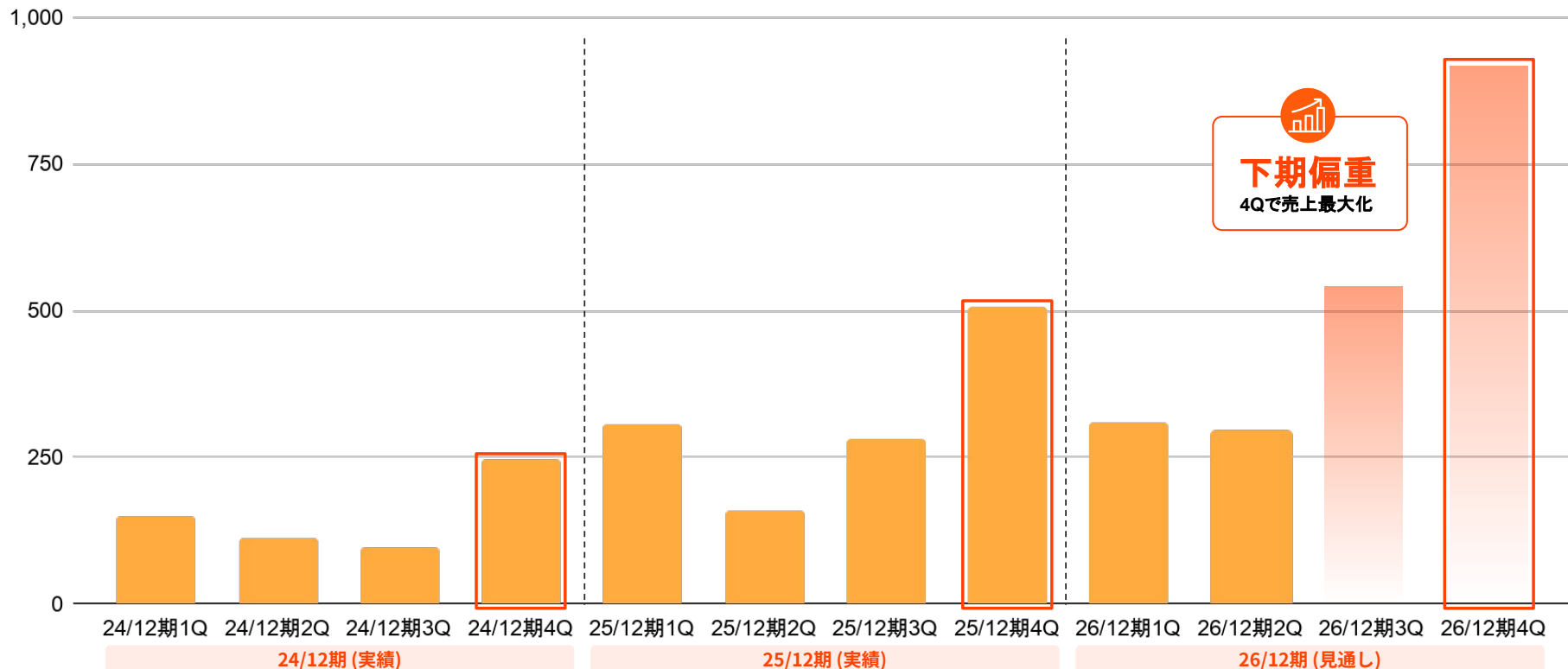
③ 下期偏重の季節性

売上高の半数以上を占める継続顧客からの受注は、例年2Q～3Qに集中する傾向があり、それらが同一年度内に納品される見通し。

売上高の偏重に関して

POINT 会社が成長フェーズにあり期末にかけて売上が増加傾向、2026年12月期も同様に下期偏重となる見通し。

(単位：百万円)



2026年12月期 貸借対照表

現金及び預金は1,945百万円と手元流動性をさらに拡充。
自己資本比率は91%と継続的な成長投資を見据え十分な財務健全性を確保。

(単位：百万円)	25/12期	26/12期2Q	前期比
流動資産	2,305	2,248	▲57
現金及び預金	1,895	1,945	+50
売掛金及び契約資産	364	202	▲161
その他	46	99	+52
固定資産	49	81	+31
資産合計	2,355	2,329	▲25
流動負債	227	168	▲58
買掛金	4	6	+1
1年以内返済予定の長期借入金	11	19	+8
未払法人税等	70	15	▲54
未払消費税等	67	0	▲66
その他	73	126	+52
固定負債	57	50	▲6
長期借入金	46	37	▲9
資産除去債務	10	10	+0
その他	—	2	+2
負債合計	284	219	▲65
純資産合計	2,070	2,110	+39
負債・純資産合計	2,355	2,329	▲25

資産

売掛金回収等により現預金が増加。固定資産の増加は、組織拡大に伴う業務用PCの購入によるもの。

負債

法人税等の納付に伴い、流動資産は減少。

純資産

新株予約権の行使、中間純利益の計上により純資産は増加。

最新ニュース

2Q 事業ハイライト：BASE・EVENT・TOPICS

フィジカルAIラボ開設



ハードウェア開発に特化した新拠点

ハードウェアの開発および実機検証を推進する拠点として「フィジカルAIラボ」を開設。

実際の製造ラインを再現した環境での検証を加速させ、フィジカルAIの社会実装と現場導入スピードをさらに向上。

FOOMA JAPAN 2026に出展



外観検査AI「メキキバイト」の最新デモ機を初披露

国内最大級の食品工業展「FOOMA JAPAN 2026」に出展し、「多列全数検査・不良品自動排除デモ機」を初披露。加えて「ボトル高速検査デモ機」を披露し、現場での対応力を実演。

出展社セミナーにも登壇し、食品工場の少人化・DX推進について発信。

成長性・収益性調査でトップ評価



＜日本AI導入支援協会調査＞
国内AI関連上場企業60社の調査で
フツパーが成長率トップ企業に

外部調査にて、増収率1位を獲得

一般社団法人日本AI導入支援協会の「AI関連上場企業60社 決算横断調査」にて、増収率1位（+108.4%）を獲得。

営業利益率においても上位（31.6%）にランクインし、AI業界におけるトップクラスの成長性と高い収益性を証明。

TOPICS

国内AI関連上場企業60社中、当社は「増収率第1位」を達成（日本AI導入支援協会調査）

業界全体で増収黒字化が進む中、当社（フツパー）は圧倒的な成長速度（+108.4%）と高い営業利益率（31.6%）を両立

当社 増収率

No.1

+108.4 %

増収黒字企業42社中 トップ

当社 営業利益率

高収益

31.6 %

市場全体平均・中央値を大きく凌駕

市場増収率（中央値）

16.5 %

グロース市場中央値: 21.5%

市場営業利益率（中央値）

9.1 %

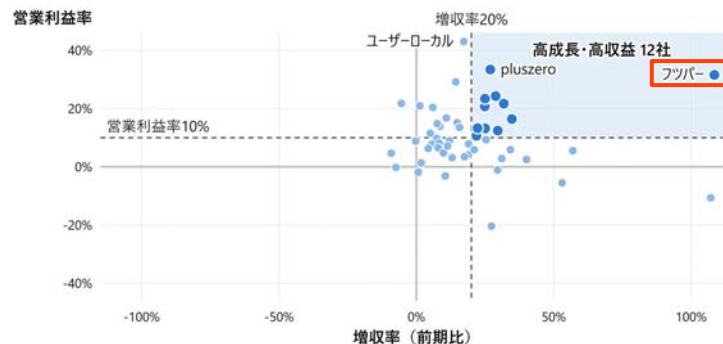
10%以上は27社

増収かつ営業黒字企業 増収率ランキング

順位	企業名（証券コード）	増収率	営業利益率
👑1	フツパー	+108.4%	31.6%
2	Sapeet	+56.9%	---
3	JDSC	+40.1%	---
4	AVILEN	+34.7%	---
5	ヘッドウォーターズ	+34.2%	---

※日本AI導入支援協会 調査結果（54社比較）より抜粋

増収率20%以上×営業利益率10%以上の12社



出典: 各社の有価証券報告書等をもとに日本AI導入支援協会が集計（比較可能54社。範囲外の2社は営業赤字。社名は株式会社等を省略）

2 2026年12月期 業績予想

2026年12月期の予想と進捗について

- 1 2026年12月期 2Q実績
- 2 2026年12月期 業績予想**
- 3 成長戦略
- 4 Appendix

2026年12月期 業績予想

公募増資で調達した資金をもとに、中長期の事業成長のための積極的な投資を見込む。
既存プロダクトの拡販等により売上高の成長を継続し、2026年12月期は増収増益計画。

(単位：百万円)

	2025年12月期	2026年12月期	増減額	増減率
売上高	1,256	2,000	+744	+59%
売上原価	439	687	+247	+56%
売上総利益	816	1,313	+496	+61%
└ 売上総利益率	65%	66%	+1pt	—
販売費及び一般管理費	420	832	+412	+98%
営業利益	396	480	+84	+21%
└ 営業利益率	32%	24%	▲8pt	—
経常利益	385	481	+96	+25%
当期純利益	304	347	+43	+14%

売上高・売上総利益

業務提携の推進等により、新規案件の獲得に注力。また、継続顧客へのアプローチも継続することで売上高は2,000百万円を見込む。売上総利益率は同水準を維持。

営業利益・経常利益

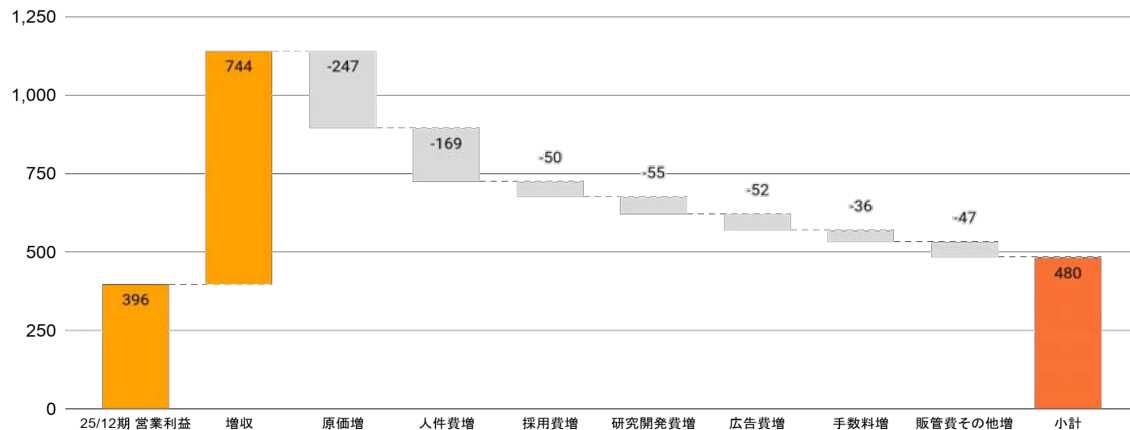
増収の一方で、中長期の事業成長のための投資（人件費、研究開発費、その他諸経費等）による費用増加あるため、営業利益は480百万円（+84百万円）、営業利益率は24%を見込む（▲8pt）。

当期純利益

当期に繰越欠損金を解消したことにより、法人税額が増加すると想定し、当期純利益は347百万円を見込む。

2026年12月期業績予想の営業利益の主な増減内訳

(単位：百万円)



売上総利益

744百万円の増収に対して売上原価の増加は247百万円となり売上総利益は496百万円の増加。

販売費及び一般管理費

公募増資を資金に積極的な成長投資を予定。継続的な人材採用に加え、新規プロダクトの開発や認知度向上・市場拡大のための展示会出展等を計画。
 その他経費では、拠点の移転・設立に伴い賃料・減価償却費等が増加。

(単位：百万円)

	2025年12月期	2026年12月期	前期比	主な要因
人件費	232	402	+169	従業員の増加
採用費	6	57	+50	従業員の増加
研究開発費	35	91	+55	新規プロダクトの開発
広告費	14	66	+52	展示会出展
支払手数料	58	95	+36	従業員の増加
その他経費	72	119	+47	拠点の移転・設立に伴う賃料・減価償却費等
販売費及び一般管理費 合計	420	832	+412	

予算進捗

販管費の進捗率は42%と投資計画は予定通り進捗。3Q以降の業績に寄与する見込み。
3Q以降も人件費を中心に当期の業績達成及び翌期以降の成長性維持のための投資を継続。

(単位：百万円)

	2026年12月期 2Q実績	2026年12月期	予算進捗
売上高	560	2,000	28%
売上原価	181	687	26%
売上総利益	378	1,313	29%
└ 売上総利益率	68%	66%	—
販売費及び一般管理費	351	832	42%
営業利益	27	480	6%
└ 営業利益率	5%	24%	—
経常利益	33	481	7%
当期純利益	22	347	6%

売上高

継続顧客売上を中心に2Q実績は予想通り進捗。3Q以降に「GENIAC」をはじめとした大型案件の納品を控えており、通期業績達成に向けて継続して注力。

売上原価・売上総利益

案件構成の平準化により、売上総利益率は想定どおりに着地見込み。

販管費・営業利益

人件費を中心に成長投資を実施。3Q以降も積極的な投資を継続するが、営業利益は想定通り増益見込み。

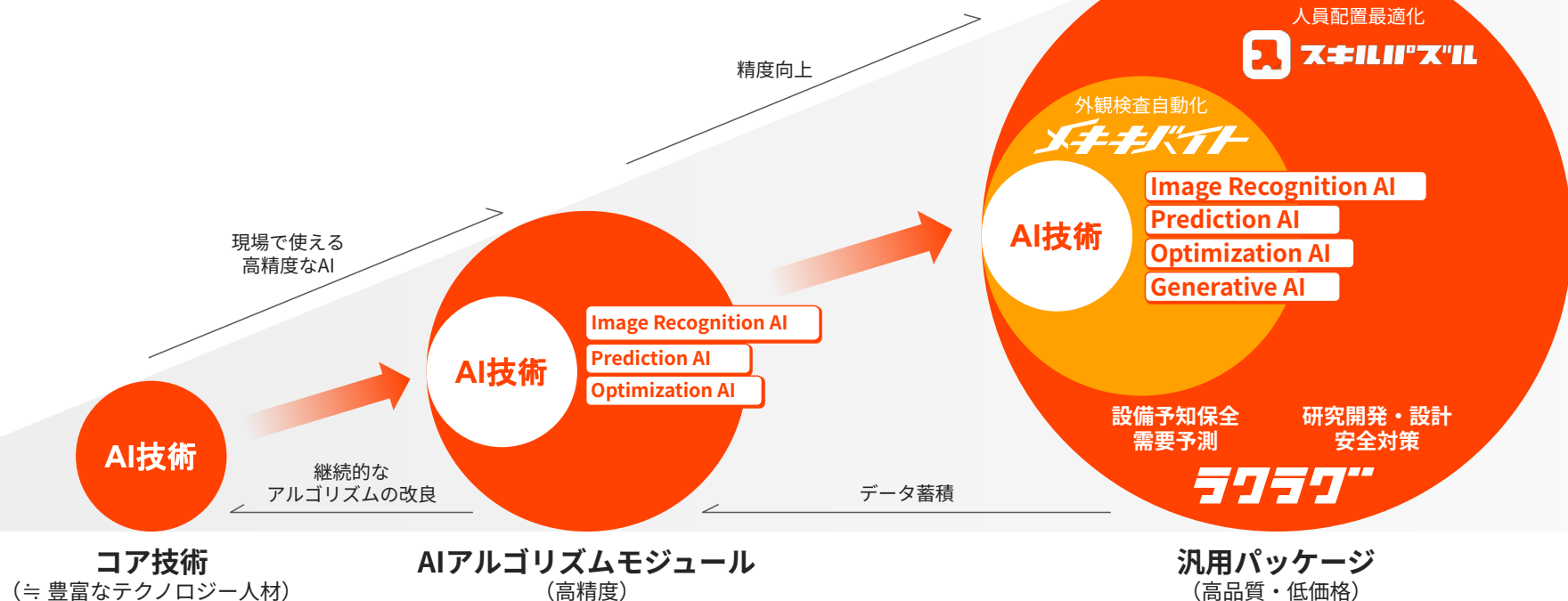
3 競争力の源泉・成長戦略

フツパーの競争力・今後の成長戦略について

- 1 2026年12月期 2Q実績
- 2 2026年12月期 業績予想
- 3 競争力の源泉・成長戦略**
- 4 Appendix

競争力の源泉

コアテクノロジーは、高品質なAI
いち早く現場投入し、大量のデータを蓄積、**精度向上**を繰り返す



※ Image Recognition AI：画像認識AI、Prediction AI：予測AI、Optimization AI：最適化AI、Generative AI：生成AI

AI現場実装力

現場に根ざしたAI導入力

必要なハード～ソフトまで、製造現場の課題をワンストップで解決できるAIソリューションを提供
現場のノウハウ、スケール可能なプロダクト、膨大なデータに裏打ちされたAI現場実装力が強み

コアテクノロジー

フツパーの強み

AI学習用のデータ収集に
関する仕組みで特許取得

現場で使える高価値なAI

メ
キ
キ
バ
イ
ト

可視化

センサ・ハードウェア



光学設計

搬送・排除

デジタル化

ソフトウェア・システム



現場アプリ

ルールベース

IoT化

クラウド・データベース



Webアプリ

通信・API

AI化

アルゴリズム・自律制御



AIモデル

GUI・再学習



ノウハウ

製造現場にAI技術を導入するためのノウハウ
マニュアルにない≡ネット上にない情報と経験の保有



プロダクト

AI技術を道具として活用してもらうためのプロダクト
特定用途に特化しユーザーへの提供価値を集約・最大化



データ

最大限にAI技術の価値を高めるフィジカルなデータ
インターネットの外の領域にある膨大なデータを蓄積

テクノロジー人材

現場の課題解決に必要な技術を網羅

エンジニアが正社員全体の約6割を占め、高い専門性を有したエンジニアが各領域において在籍
現場の課題解決に必要な技術を網羅し、総合的なサービス提供ができることが当社独自の強み

約6割がエンジニア

組織名/職種	役割	保有技術	人員数（人）
AIビジョン事業部、CS部/PM	顧客の技術面の課題抽出及びプロジェクト全体のマネジメント、顧客満足度の向上、サービスの改善	製造工程、品質管理、生産管理に関する知見	11
AIビジョン事業部 /ソフトウェア・プロダクト	Hutzper Insightの開発及び製造現場で使用するソフトウェアの開発	プログラミング、Webサービス開発、デザイン	11
AIビジョン事業部 /ハードウェア	コンベアや排除機構等の製造ラインの設計・組立・設置	ハードウェア設計、電気回路構築	8
AIビジョン事業部 /AI・光学	顧客の製造現場、製造物に対応した光学設計からAI構築及び学習	光学設計、AI構築	8
エンタープライズAI事業部、建設・物流ソリューション事業部/DS	カスタムHutzperAIの提供、AI技術の調査・研究開発	AIリサーチ、データサイエンス、AIを活用したコンサルティング	8
エンタープライズAI事業部、建設・物流ソリューション事業部、海外事業部/プロダクト	スキルパズルの開発及びWebサービスの個別開発	Webサービス開発	4

※ 2026年6月30日時点の人員構成を記載しております。

競争優位性

製造業のようなリアルな現場をもつ産業に対して”高度なAIソリューションを提供”



POINT

既存のAIベンダーで当社のように特定業界に特化し、プロダクトを有して課題解決に取り組んでいる会社は少数。

特に外観検査領域においては、導入して終わりのAIセンサ及びAI機能を持つ装置を提供している会社は存在するが、当社のようにクラウド経由で継続的な再学習を支援し、大量の現場データを保有する会社はないと思われる。

生成AI進化下における当社の競争優位性

”一気通貫の技術統合力”でフィジカルAI時代に求められる現場価値創出を実現

生成AIの進化（Anthropic Shock）により、AIモデル単体の提供や汎用SaaSは差別化が難化する一方、AI実装を担うSI(※1)ニーズは拡大。

当社が注力するフィジカル領域では、AI・ソフト・ハードの技術統合が不可欠で、需要拡大に対し実装まで担えるプレイヤーは限定的。

生成AIでは代替困難な“現場統合型AI”の構造（メキキバイト）



AI価値創出のレイヤー構造と当社のポジション

インフラレイヤー（計算資源・基盤）

クラウド / GPU / ネットワーク

ファウンデーションモデルレイヤー（知能）

LLM / VLM(※2) / 音声モデル

アプリケーションレイヤー（機能）

SaaS / デベロッパーツール / UI

業務実装レイヤー（適用）

SI / コンサル / AIベンダー

フィジカルAIレイヤー（統合）

当社（現場統合型AI）

フィジカルAI企業 / FA機器メーカー / ロボティクス企業
データ取得、制御、システム統合（AI×ソフト×ハード）

リアル現場（価値創出）

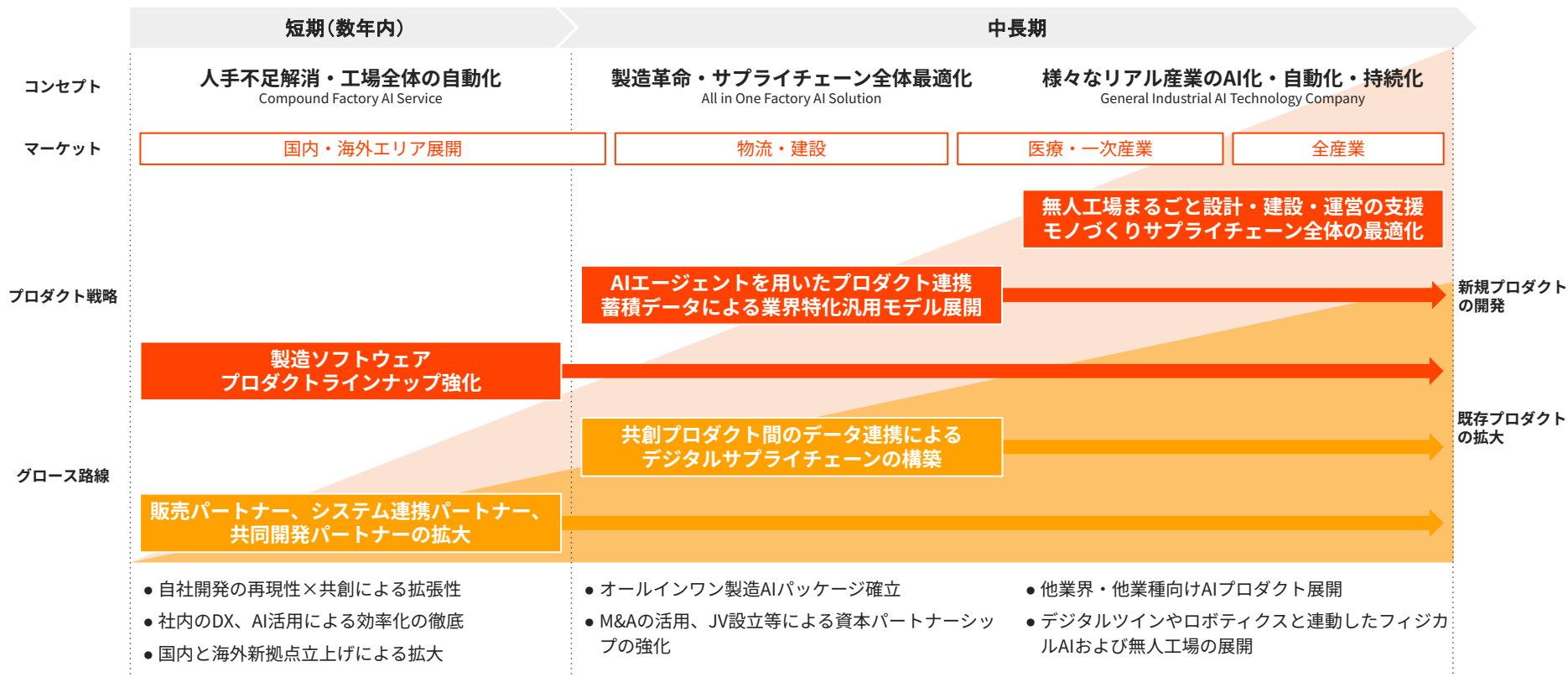
工場 / 設備 / 作業

※1 SI(System Integration): ソフトウェアやハードウェアを組み合わせ、要件定義から実装まで統合的にシステムをに提供すること。

※2 VLM(Vision Language Model): 画像や動画(Vision)とテキスト(Language)を同時に理解・処理できるAI技術。

成長戦略

短期的にはプロダクトの強化・開発、複数拠点展開やパートナーを活用した販路拡大を行っていく。その後は、AIエージェントによるプロダクト連携や蓄積されたデータを活用したAIモデル開発等によりサプライチェーン全体の最適化を進める計画。



成長戦略の二軸展開

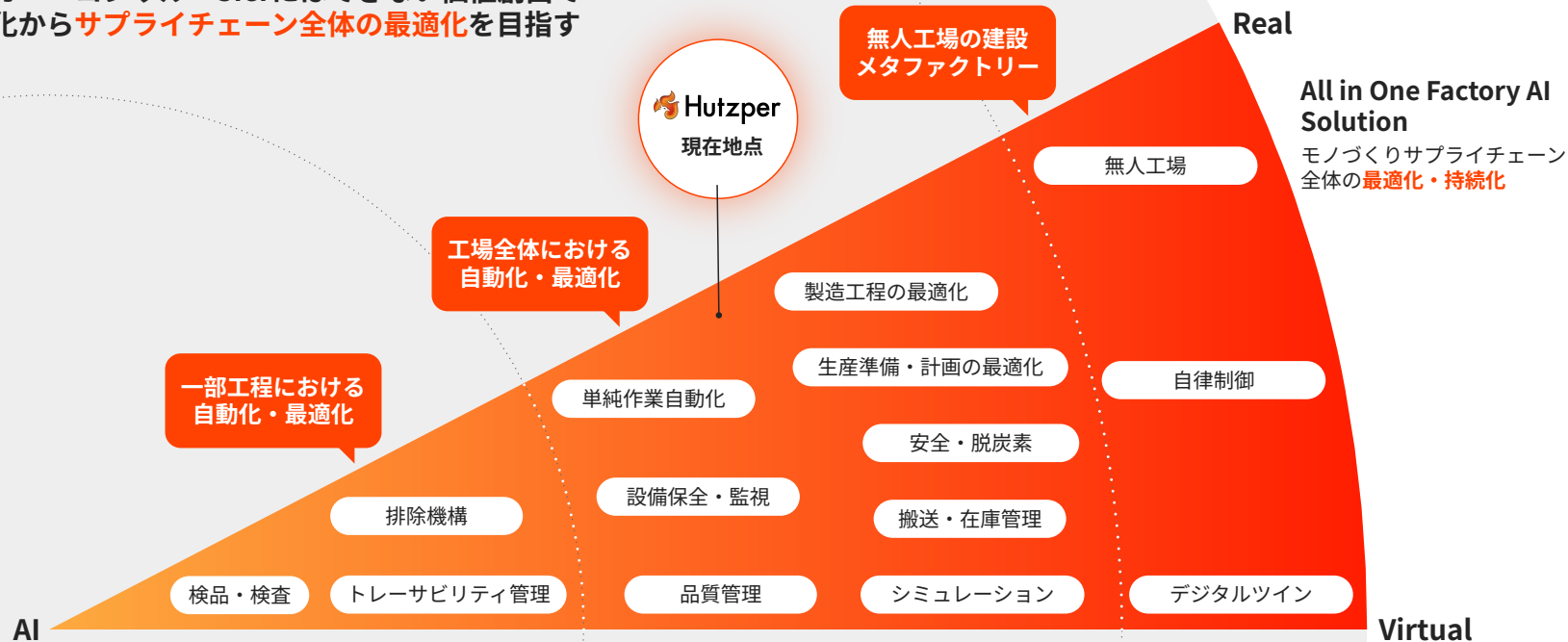
プロダクト展開は製造領域に特化、AI技術提供は業種問わずサポート

製造現場で培ったノウハウや知見、技術・技能だけでなく、モノづくりの誇りや考え方、概念を継承し、他業界の改善に活かすデータとAIの仕組みで次世代に翻訳し、モノづくりの広義化を目指す。



製造領域ロードマップ

ハード+ソフトでリアルな課題解決にこだわり
単体のメーカー・コンサル・SIerにはできない価値創出で
部分の自動化から**サプライチェーン全体の最適化**を目指す



オールインワン製造AIプラットフォーム

サプライチェーン全体の最適化を実現できるよう、既存領域だけでなく、製造分野においてさらなる事業展開を進めていく。

個別AIソリューション

AIエージェントによって適宜活用され、分析結果、実行状況をAIエージェントにフィードバック

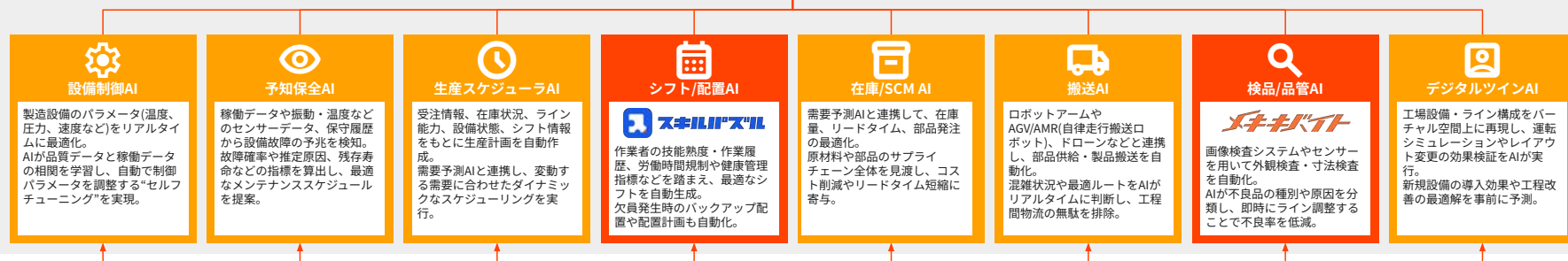


AIエージェント

現場作業や管理者が自然言語でシステムに問い合わせ・指示をおこなう。AIが対話形式で提案・応答する。
AIエージェントが各個別AIソリューションを横断的に司り、設定変更や問い合わせに対して最適解を自動的に実行・回答。

■ 既に提供済みの領域

■ 今後サービス提供を検討する領域



データ基盤

工場設備・IoTデバイス・管理システムなどからデータを取得

データレイク / DWH

工場内のリアルタイムデータや管理データを統合・蓄積

稼働/状態監視

(リアルタイムデータ)

管理データ

(生産計画/在庫/点検記録/動怠等)

検査/監視

(画像/動画)



PLC



IoT



MES/SCADA



MRP/ERP



労務/保守管理システム等



カメラ



ドローン/AGV

4 Appendix

その他の参考資料

- 1 2026年12月期 2Q実績
- 2 2026年12月期 業績予想
- 3 競争力の源泉・成長戦略
- 4 Appendix

MISSION

最新テクノロジーを 確かな労働力に

会社情報



社名	株式会社フツパー（英文名：Hutzper Inc.）
創業日	2020年4月1日
資本金	8.3億円（資本剰余金含む 20.0億円）
代表者	大西 洋
社員数	111名（アルバイト・インターン含む ※2026.6.30時点）
事業概要	製造業向けAIサービスの提供
事務所	大阪本社：大阪府大阪市淀川区西中島1-11-16 関東支社：東京都千代田区一番町19
取得資格	ISO/IEC 27001:2022 および JIS Q 27001:2023（ISMS認証） 認証登録番号：IS 811223 認証事業所：大阪本社および関東支社 認証取得日：2024年10月21日

創業ストーリー

製造業は国内GDP2割を占める基幹産業
その最大課題である人手不足を
テクノロジーで解決

創業当初の課題感



実社会へのAI導入が進まない
大半がPoC止まり、価格も高額
製造業の人手不足が深刻
人がこない、職人は高齢化
地方、中小企業でDXが進まない
サプライチェーンの維持が困難

世の中的にはAI技術が注目される中で
実際の現場にはほとんど導入されていない

全ての製造現場で使えるAIサービス（メキキバイト）

いつでも解約可能な月額課金制



PoCで終わらず、費用対効果が見込める

製造業特化のワンストップ支援



必要なハードとソフトに全て対応

現場とクラウドのハイブリッド



機械的制御は現場完結のエッジAI、人が取り扱う情報はクラウド提供

モノづくりシステムのこれまで



在籍メンバー

(2026.6.30時点)

バックオフィス

ビジネスサイド

エンジニア

111名

※ アルバイト・インターン含む

- ・ AIエンジニア
- ・ 画像処理エンジニア
- ・ 光学エンジニア
- ・ 電気回路/制御エンジニア (PLC等)
- ・ ハードウェア設計エンジニア
- ・ データサイエンティスト
- ・ 現場DX PJマネージャー
- ・ 品質管理部出身メンバー
- ・ 生産技術部出身メンバー
- ・ 戦略コンサルタント

経営メンバー

代表取締役社長CEO

大西 洋

兵庫県出身。新卒で日東電工に入社。その後イスラエルで起業失敗し、帰国後、工場向けAI/IoTベンチャーの事業開発グループリーダーを経て、弊社設立。

MENSA会員。ソフトバンクアカデミア外部12期生。

取締役副社長COO

黒瀬 康太

大分県出身。在学中には自動車プレス工場での勤務経験あり。前職は日本IBMにて多数のAI導入案件に従事。

お客様満足度調査にて3期連続の最高評価を受賞。後に共同創業。

取締役CTO

弓場 一輝

広島県出身。広島大学大学院先端物質科学研究科修了。研究内容はゲノム編集。新卒で共同創業。NVIDIA「GTC 2020」登壇実績や総務省の案件実績あり。

「Startup CTO of the year 2023」ファイナリスト選出。

「Forbes 30 Under 30 Asia 2025」選出。

取締役CFO兼管理本部長

高木 真一郎

京都府出身。在学中に公認会計士試験に合格、新卒であずさ監査法人へ入所。約8年間勤務した後、事業会社にて執行役員経理マネージャーとしてマザーズ上場に貢献。2022年1月よりフツパーに参画。

メンバー紹介

在籍メンバー

執行役員 / AIビジョン事業部 事業部長

山本 泰弘

新卒で画像検査装置メーカーに入社。

その後製造業に転職、海外拠点でノウハウを伝えながら外観検査自動化チームで勤務、外観検査だけでなく生産管理やIoTシステムの国内外での開発導入に従事、2022年1月よりフツパーに参画。

執行役員 / エンタープライズAI事業部 事業部長

杉山 琢哉

東京大学工学部機械工学科卒業。2005年にアクセンチュアに入社。戦略コンサルティング部門でシニアマネージャーとして製造・小売業向けに成長戦略、新規事業、デジタル戦略等を手掛ける。

2018年よりTBMにて新規事業やリサイクルプラントの立ち上げ業務に従事。

2023年12月よりフツパーに参画。

エンタープライズAI事業部 開発部 部長 / テクノキング・オブ・フツパー

今井 亮太

大阪大学基礎工学部システム科学科卒業後、同大学修士課程を修了。画像生成モデルを用いた自身の研究をコア技術とした大学発ベンチャーの発足に携わる。

新卒でエムスリーにデータサイエンティストとして入社、製薬マーケティングにおけるデータ分析等に従事。2022年3月よりフツパーに参画。

技術顧問 / カーネギーメロン大学 創始者記念全学教授

金出 武雄

1974年に京都大学 大学院工学研究科 博士課程修了。京都大学助教授を経て、カーネギーメロン大学教授、ロボット研究所所長、現在はカーネギーメロン大学 創始者記念全学教授。

産業技術総合研究所 名誉フェロー、京都大学高等研究院 招聘特別教授。これまでWeRide.ai、Mujin、TELEXISTENCE等で技術顧問。

社外取締役 / 監査等委員

社外取締役

渋谷 順

(株)スマートバリュー取締役兼代表執行役社長。(株)菱和商工に入社後、(株)堺電機製作所へ入社、2003年より同社の代表取締役。町工場からITサービス業へ事業転換を図り、2015年に株式上場。オープンガバメントやモビリティIoT領域、さらに公共財のプロフィットモデルやスポーツ×ITの事業化等を手掛ける。

社外取締役 (常勤監査等委員)

釜谷 芳充

公認会計士。2006年にEY新日本有限責任監査法人へ入所。

2021年に退所後、非常勤監査役として当社に参画、2023年4月より常勤監査役に就任。

社外取締役 (監査等委員)

廣瀬 雄二郎

新卒でNTTへ入社、NTTソルマール(株)の代表取締役として新事業創出に従事。以降はNTT西日本の常務取締役やNTTビジネスソリューションズ(株)の代表取締役を経て、日本IBMとの合併会社である日本情報通信(株)の代表取締役に就任。

その後、NTT西日本常勤監査役監査役会議長を2022年6月まで務める。

社外取締役 (監査等委員)

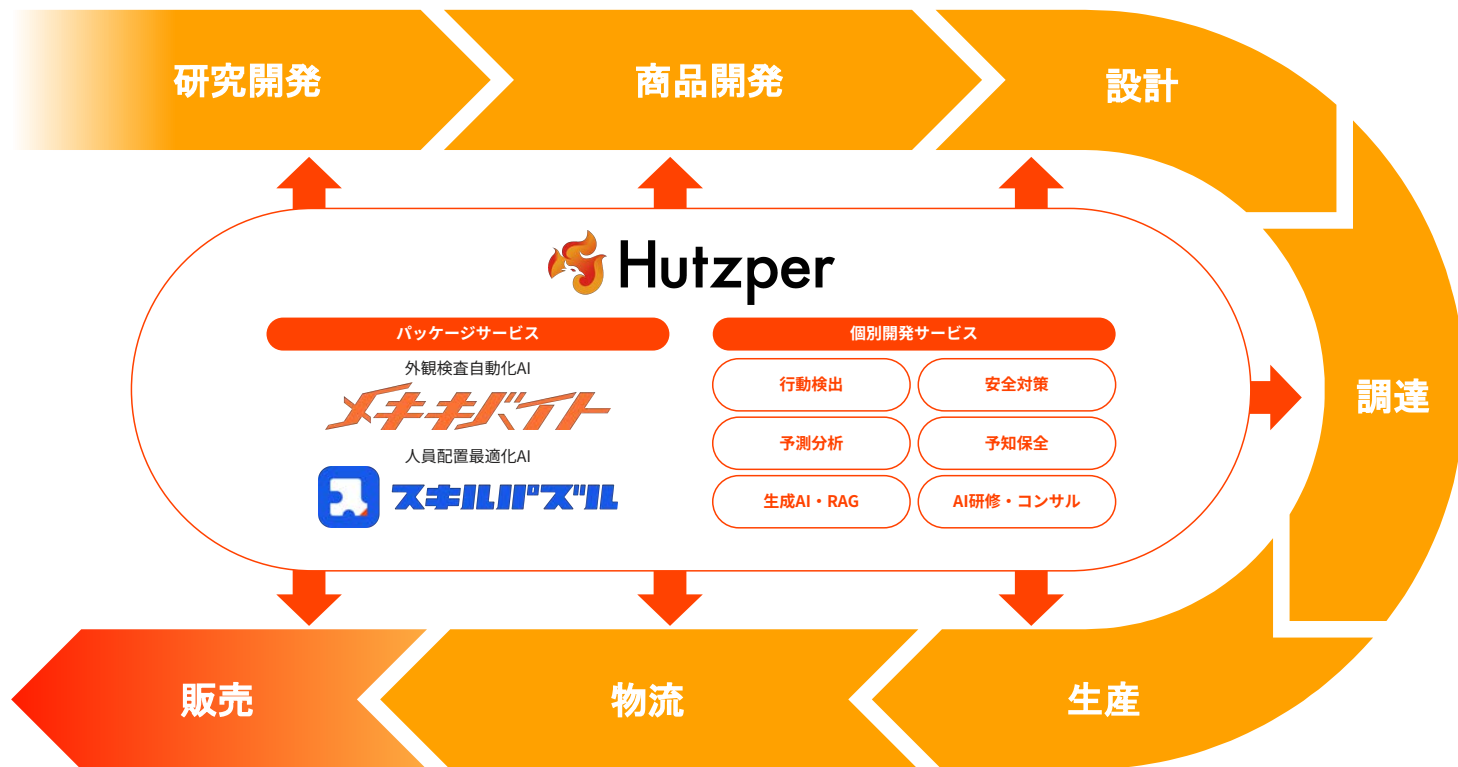
氏家 真紀子

弁護士。2011年に梅ヶ枝中央法律事務所に入所。2018年にパートナー就任。

M&A、金融法務、株式に関連する紛争、資本業務提携や公開買付での意見表明、買収防衛策の導入など、幅広い企業法務の案件を取り扱う。

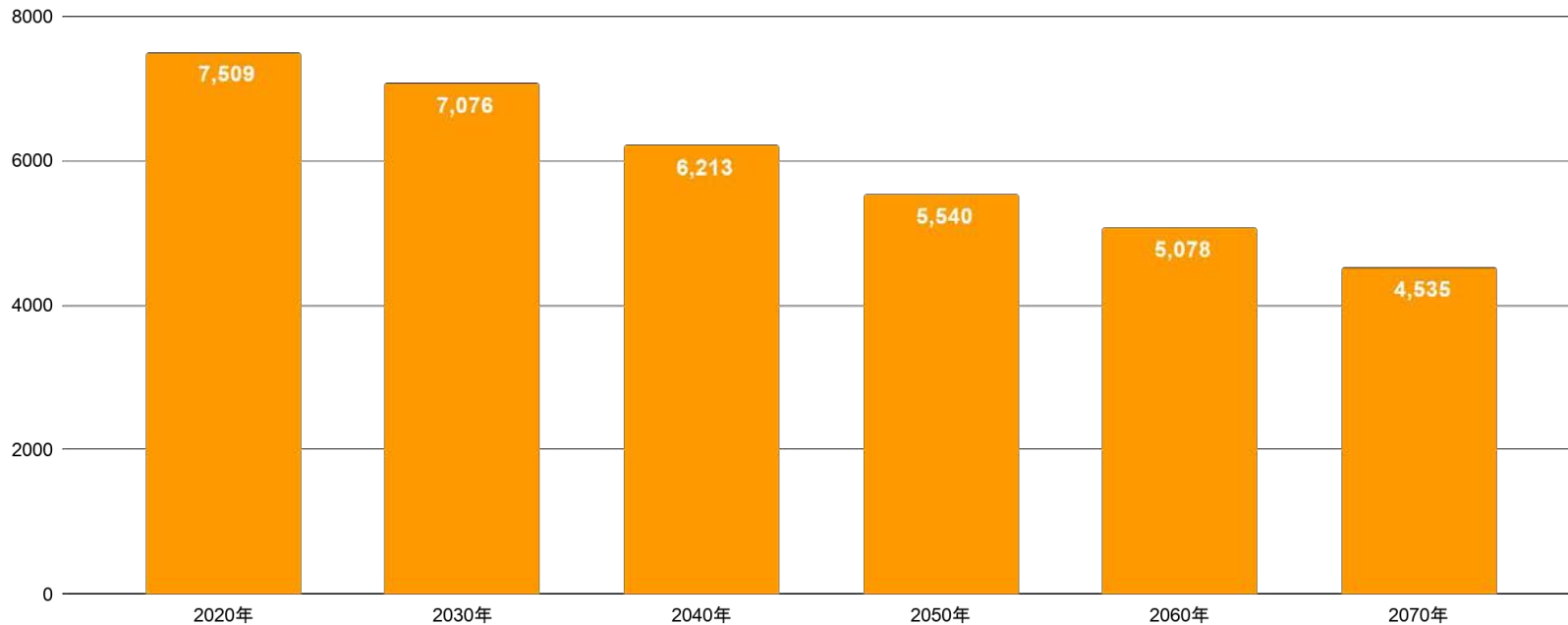
支援領域

パッケージサービスは生産領域を中心に導入、個別開発で周辺領域のニーズにも対応
製造業DXにおける個別最適から、サプライチェーン全体最適までを包括的にサポート



少子高齢化により日本の生産人口は減少の一途をたどっており、労働力不足が深刻化

(単位：万人)



(出所) 内閣府「令和7年版高齢社会白書（全体版）」

製造業は国内最大の産業であり、製造業の人手不足の課題をテクノロジーで解決

企業社数

34万社

売上高

387兆円

従業者数

880万人

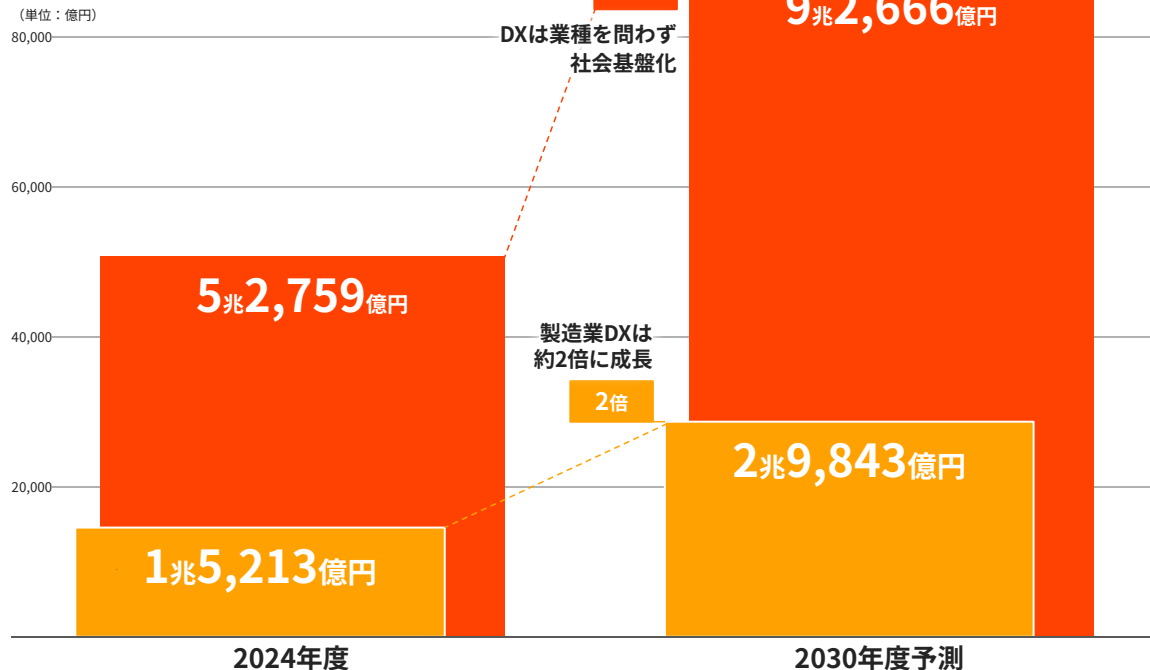
(出所)総務省統計局「令和3年経済センサス- 活動調査」

DX市場関連投資額

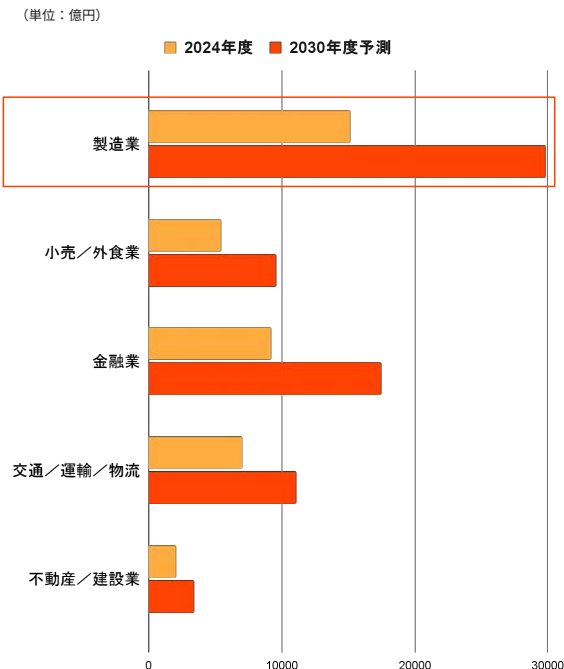
国内DX市場関連投資額は9兆2,666億円規模へ拡大、2030年には約1.8倍成長見込み

国内DX関連投資額

■ 国内DX関連投資額 ■ 製造DX関連投資額



業種別 2024年度比較 約2倍増加予測



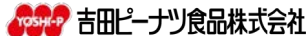
主要取引先一覧

POINT 製造業を中心に特定の業界に偏ることなく、中小から大手まで幅広い顧客層に対してサービス提供ができています。

食品製造



SUZETTE



自動車・機械



KOEI



TOYOTA



TECHPORT



NITTOU

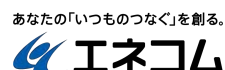


MITANI SEISAKUSHO

運輸・物流



通信・インフラ・その他



化学・繊維・医薬品



鉄鋼・金属



電機・電子部品



TOSHIBA

サービス紹介

画像認識AIサービス

メキキバイト



高精度AIの開発はもちろん
撮像や排除までサポート

製造業の外観検査をAIで自動化。撮影→検出→排除→品質管理まで一気通貫で対応し、検査工程の人手不足と品質バラツキの課題を解決。すでに食品・電子部品など複数業界に導入実績あり。

分析AIサービス

カスタムHutzper AI

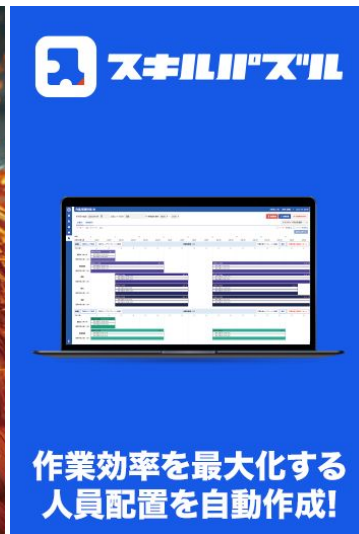


“業務理解”×“最新テクノロジー”で
費用対効果にこだわった伴走支援

最新のAI技術(RAG・生成AI等)を活用し、データ分析からアクション設計まで支援。顧客ごとの業務フローに深く入り込み、事業課題に対して具体的な改善施策を構築。

その他AIサービス

スキルパズル



人的相性や作業負荷まで考慮し
現場が納得感のある計画を実現

工数・スキル・勤怠状況をもとに、最適な人員配置案をAIが即座に提案。工場現場での人材不足と配置の属人化を解消し、生産性を大幅に改善。

ラクラグ



セキュリティ対策と精度を両立
様々な業務を安全に効率化

安心のローカル環境で、社内に眠る膨大な資料・ナレッジ・画像データを有効活用。独自の情報抽出技術・クエリ補強技術により、高い回答精度を実現。

リアラボAI



研究知見の探索から実験実行まで
2つのAIで一気通貫に支援

論文・実験記録を横断し、根拠付きの仮説や処方候補を生成。自然言語の指示から実験手順・条件を作成し、複雑なプログラミングなしで実験ロボットを制御。

サービスごとの収益構造

サービス		内容	主な原価
画像認識AIサービス		ハードウェア AI構築+ソフトウェア Hutzper Insight※ 買い切り サブスク or 買い切り アプリライセンス ライン数に応じた従量課金制	ハードウェアの材料費 エンジニアの人件費 インフラ維持費 等
	メキキバイト以外の 画像認識AIサービス	AI構築+ソフトウェア 買い切り	エンジニアの人件費 等
分析AIサービス		AI構築+ソフトウェア 買い切り	エンジニアの人件費 等
その他AIサービス		スキルパズル アプリライセンス 利用人数に応じた従量課金制	インフラ維持費 等
		ハードウェア ソフトウェア 買い切り	ハードウェアの材料費 等
		AI構築+ソフトウェア 買い切り	エンジニアの人件費 等

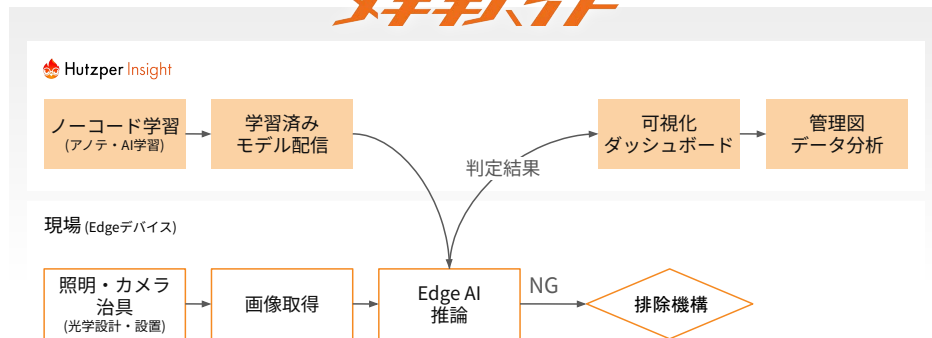
※ 一部、管理アプリケーション「Hutzper Insight」を伴わないソフトウェアを買い切りで販売する場合もございます。

光学設計からAI構築・運用管理までを包括する 検査自動化プラットフォーム

外観検査自動化AIサービス「メキキバイト」は、製造業の顧客に対し、製造ライン・検査対象に最適化した光学設計（照明・カメラの選定～設置）、不良検出のためのAIモデル構築と排除機構連携、導入後の運用管理までを一気通貫で提供します。

AI判定は現場の産業用PCに搭載したエッジAI※で実行し、高速・安定稼働を担保。運用フェーズではクラウドHutzper Insightを管理アプリとして提供し、顧客自身によるモデル精度向上と品質管理を可能にします。

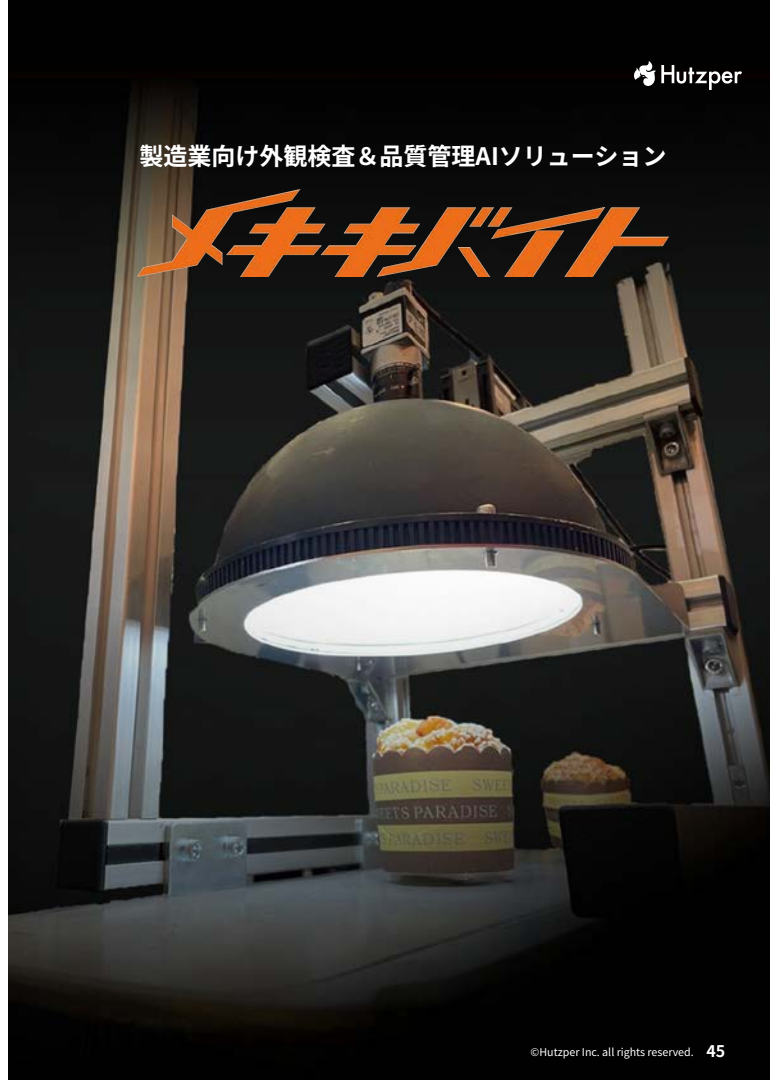
メキキバイト



※ エッジAI：クラウドに依存せず、現場の産業用PC上で推論処理を行う方式。ネットワーク遅延や停止の影響を受けにくく、高速・安定稼働が可能。

製造業向け外観検査 & 品質管理AIソリューション

メキキバイト



導入ステップ毎の強み

“作る・動かす・育てる”の全工程を切れ目なく提供し
導入後も運用定着まで継続伴走

トータルサポート

データ、ノウハウ蓄積と活用

導入相談

ハードウェア
設計

データ収集

AI構築

運用・再学習

要件定義サポート

要件定義を伴走し、目的・評価指標・ROI仮説を明確化。

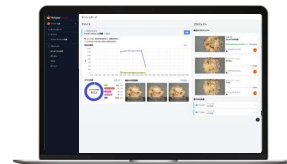
要件定義サポート

「何を・どれだけ・どの条件で」集めるかを設計し、収集/アノテーションを支援。

品質管理機能搭載

管理アプリケーション

Hutzper Insight



集計・品質管理図 ノーコードAI開発 再学習

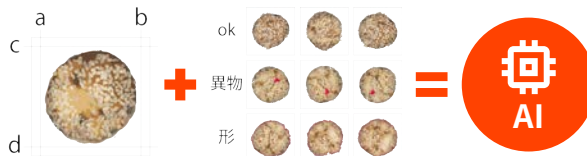
高度な光学設計 / 搬送・排除機構を含めた提案



照明／カメラ／治具の光学最適化を実施し、搬送・排除機構まで含めて設計。

最適アルゴリズムの採用 / ルールベース組み合わせも可

ソフトウェア 画像処理 + ディープラーニング

画像処理
(ルールベース)AI
(ディープラーニング)

対象に最適なアルゴリズムを採用ルールベース併用で精度×説明性を両立。

同梱の管理アプリケーション
Hutzper Insightで可視化・自動
帳票・JIS管理図。ノーコード再
学習で継続改善。

メキキバイトの特徴

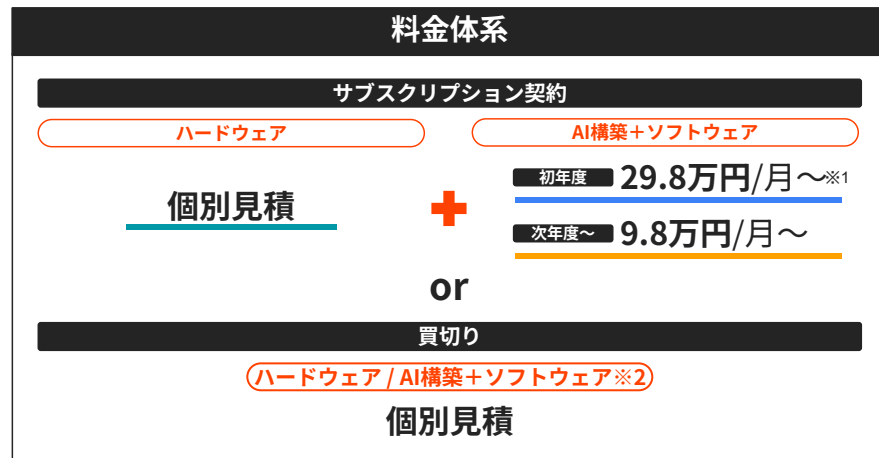
顧客の早期投資回収を実現



サブスク転換 従来AIの数千万円～1億円規模の初期投資／教育費を、**月額課金**に置換。スモールスタートから拡張可能。

伴走一気通貫 データ収集・アノテーション・AI構築・運用支援までを社内標準プロセス化し、**立ち上げにかかる期間を短縮**。

解約耐性 運用定着まで**継続伴走**し、現場発の改善を回し続ける設計。結果として**乗り換え動機が生じにくい**。



※1 AI構築費20万円、Hutzper Insightのライセンス利用料9.8万円の合計金額(AI構築費は初年度のみ発生)

※2 クラウド管理機能である「Hutzper Insight」を伴わないソフトウェアの販売となります



※1 平均単価＝ハードウェアの平均単価＋初年度のAI構築及びライセンス利用料の平均単価＋2年目以降のライセンス利用料

※2 2年目以降のライセンス利用料＝ライセンス利用料の年間平均単価×(解約率×12)－ライセンス利用料の年間平均単価
解約率は、直近3年間の平均月次解約率を使用

従来より“ばらつき”を抑え、ライン速度を落とさない**再現性ある検査**を実現

現場の課題

目視検査の現場

- ・日や検査員によって検品精度にムラが出る
- ・生産スピードを落とさないと判定できない

画像処理センサを導入している現場

- ・多数ある不良、曖昧な基準をルール化しきれない
- ・誤検出が多く、結局人の目で確認している

AIによって解決

現場でブレない、止まらない運用

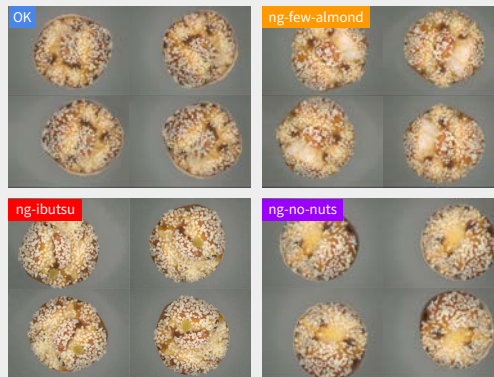
- ・光学最適化+統一基準で日・人差を緩和
- ・エッジ推論でライン追従、再確認回数を低減
- ・AI+ルール併用で“基準の隙間”を補完

運用の見える化と継続改善

- ・クラウド自動蓄積→管理図・自動帳票で変動監視
- ・ノーコード再学習／閾値調整で迅速復帰

※ カップマフィンの検査の例

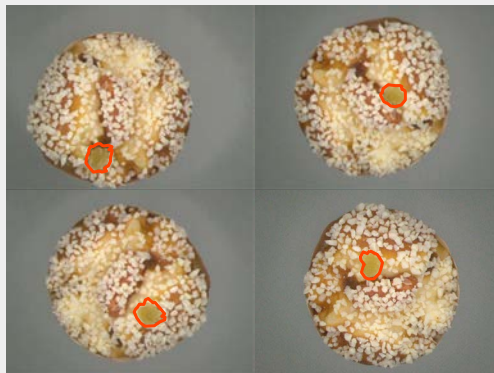
画像分類



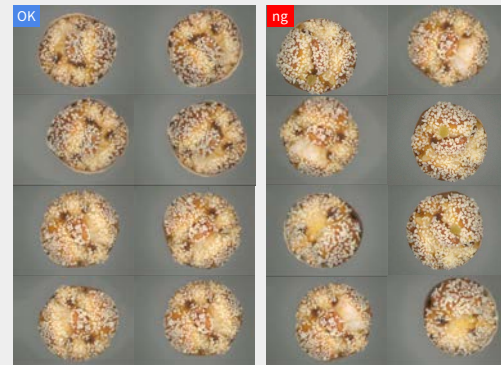
物体検出



セグメンテーション



異常検知



エッジAIとクラウドのハイブリッドによる運用支援

エッジAIで現場を止めずに運用

産業用PC上のエッジAIで外観検査を実行し、ネットワークに依存せず、即時かつ大量処理を実現します。
良否の判定基準は現場側で設定・調整でき、ライン条件の変化に合わせた柔軟な運用が可能です。

NGのみを選択同期する特許技術

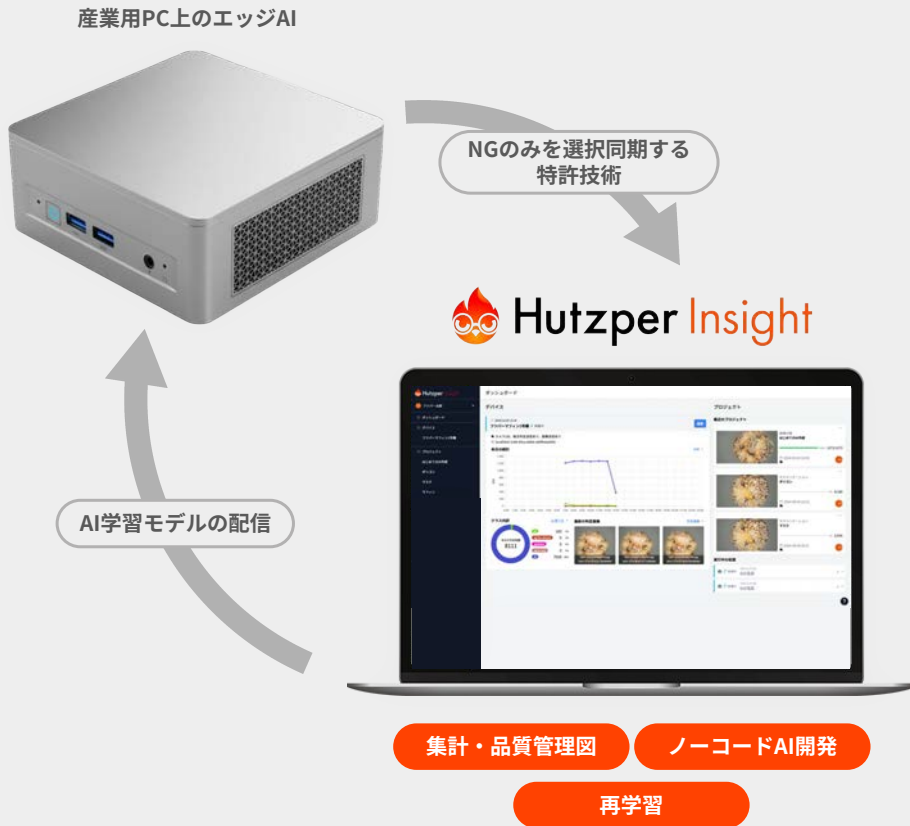
エッジでの検査結果のうち、不良（NG）と判定された画像のみをクラウドへアップロードする特許技術を保有しています。
これにより通信・保管負荷と情報リスクを抑えつつ、改善に必要なデータだけを効率的に収集できます。

ノーコードで改善&品質管理

上記技術を用いた外観検査支援アプリケーション「Hutzper Insight」を提供しています。顧客はノーコードで画像の再分類・再学習を行い、AIモデルを自ら改善できます。
あわせて、Insight上で品質管理（可視化・帳票・各種管理図）を一元的に実施できます。

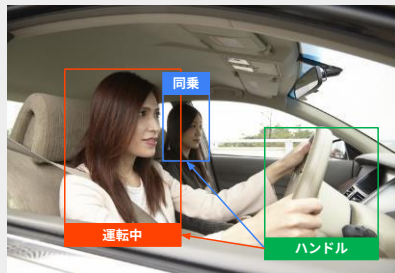
一般的な検査サービスとの違い

一般的な検査システムでは、良否判定データが現場ストレージに滞留しやすく、その後の再学習・品質管理への利活用が進まないケースが多いと当社は認識しています。当社はエッジ×クラウドの分担と選択同期+Insightにより、データを継続的な運用改善と品質管理に直結させる点が特徴です。



メキキバイト以外の画像認識AIサービス

行動検出



人の動きを“可視化”し、リスクを発見

遮蔽物の多い環境でも稼働可能な独自開発の行動検出アルゴリズムを用い、作業姿勢・動線・手順遵守状況を定量把握。IE活動や技能伝承の高度化に寄与。

事例

- ネットワークカメラによる作業時間分析
- 組み立て作業の手順間違い確認

安全対策



AIで“予防型”の安全管理を実現

侵入・転倒・未装着行動などをリアルタイムに検出するAIを開発。NEDO採択案件でも活用されており、建設・製造現場における導入実績を拡大中。

事例

- ネットワークカメラを利用した建設現場の安全点検
- 危険エリア侵入時の緊急停止
- 避難経路における障害物検知システム

POINT

「メキキバイト」で培った画像認識AIの技術を応用し、現場に設営されたネットワークカメラを活用した、作業員の行動分析や安全対策関連のソリューションを提供。エッジ判定でリアルタイムの現場機器連携が必要なものから、クラウド判定での遠隔監視支援まで幅広く対応。

AIスペシャリストによる**現場特化のDX**

顧客ニーズに応じて、現場データの解析からAI実装までを行う**AI構築支援サービス**

現場の**課題解決**へのこだわり

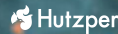
製造現場を中心に多数のAI分析案件を手掛けてきた知見を活かし、課題発見 → 分析設計 → AIモデル構築 → 業務フローへの実装 → 運用・改善までを一貫して行い、PoCで終わらない、実際の業務フローに組み込まれたAIを提供。顧客の現場課題を正しく把握したうえで、コンサルティング、設計、開発、運用、そしてMLOps（AIの継続運用体制）の構築まで支援します。

最新AI技術に精通した専門人材が支える**技術優位性**

当社には、AI・データ解析・ソフトウェア開発の各分野において、最前線の技術を理解し実装できる専門人材が揃っており、組織として最新技術のキャッチアップを体系的に行う体制を整えており、常に変化の早いAI領域に対応できる柔軟性があります。生成AI領域においても、高度なカスタマイズ力と技術実装力を強みに、LLMやRAGを実務レベルで活用できる仕組みづくりを支援しています。これらの技術基盤とチームの総合力により、製造・物流・建設・サービスなど多様な業界に向けて、生成AIを含む技術難易度の高い案件にも対応できる組織力と開発力を有しています。

CUSTOM

Hutzper *Ai*



生成AI・RAG
3D・4D
LLM・LVLM

データ分析
アルゴリズム

企画構想力
現場経験・実装

現場を熟知したAIの専門家チームが
課題解決に繋がるDXをご提案します。

カスタムHutzper AI 導入事例

POINT 製造業で培った知見と実績を基に、分析設計からAIモデル構築まで潜在ニーズに応えるサービスを提供。

データ分析

現場データを**未来の意思決定**へ

在庫・需要・設備データなどを統合し、業務別の**予測モデル**を実装。精度だけでなく運用性を重視した分析設計により、現場実装率の高い**意思決定支援AI**を実現。

事例

- センサデータ解析および排水処理手法の最適化
- 車両走行時データおよびドライバー官能評価結果の相関分析
- 航空写真の解析および遊休地の選定

予測

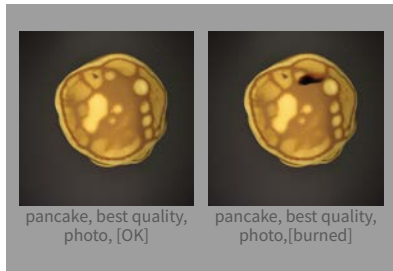
未来を見通し、**精度の高い意思決定**へ

現場データをもとに、先を見据えた需要予測や故障予兆を実現。データ活用により突発的なリスクを最小化し、安定したオペレーションを支援します。

事例

- 港湾コンテナターミナル在庫予測システム
- 輸送機器における交換部品の需要予測
- 車両整備データ実績を元にした車両パーツの故障予測および整備提案最適化

生成AI

**生成AI**を、ものづくり現場の武器に

RAG・LLM・3D/4D生成モデル生成、不良画像教師データ自動生成など、幅広い領域に対応。生成AIの活用研修や業務改善サポートにも提案可能。

事例

- RAGを活用した研究開発アシストシステム
- 外観検査の不良画像生成AI

最適化

現場フローを**最短・最適**に

物流や製造工程における動線や配置を最適化。作業効率最大化とコスト削減を実現し、現場の生産性を高めます。属人的な判断に依存せず、持続的な改善を可能にします。

事例

- 物流倉庫における商品配置と歩行距離の最適化
- トレーラーへの建材荷積み最適化システム構築

ローカルLLM「ラクラグ」(らくらくRAG)

POINT 社内データを外部環境に一切出すことなく**専用LLM**を構築、あらゆる質問に対して**業務に最適化された生成AI**と対話が可能

質問入力

このトラブル
前にもあった？

この資料に似たやつ
あったっけ？



ラクラグ



独自の
情報抽出技術

独自の
クエリ補強

安全・安心
完全ローカル環境
(クラウド等の外部環境への接続なし)

ハードとソフトのワンパッケージ
複雑なセッティング不要で、すぐ使える

回答出力

横断検索
要約/ポイント抽出
整合性チェック
問合せQ&A
ドキュメント自動生成

etc...



パワーポイント、PDF
画像...様々な形式に対応

ビジネス文書

各種企画書
議事録 報告書
見積書 報告書
契約書...

規則・マニュアル

内部マニュアル
就業規則
制度ドキュメント

設計・技術

設計書
設計図面
カタログ
ソースコード

調達・在庫・購買

在庫リスト
購買発注書
トラブル対応履歴

品質改善関連

不具合報告書
改善提案書
品質レポート

研究・調査

研究レポート
過去アンケート

機密データを含む**多種多様な社内資料**に対応

生産(作業)計画・スキル・勤務状況から 最適な人員配置をAIが提案

計画業務を効率化し付帯業務を削減

複雑な人員配置やシフト調整をAIが自動化。
属人化していた業務の時間を削減し、現場の管理負担を軽減。

計画平準化で働きやすい職場を実現

休暇希望や個人条件を踏まえた平等なシフト設計が可能。偏りのない計画で、現場の納得感と定着率の向上を支援。

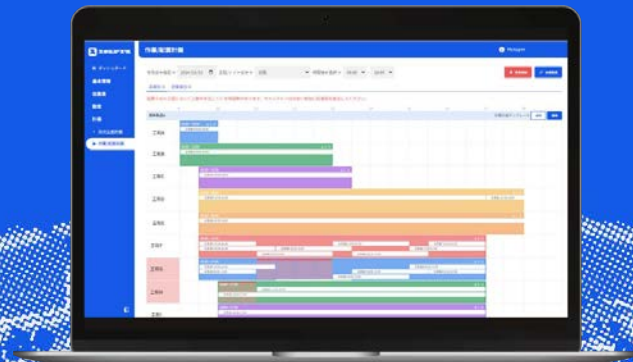
最適な人員配置で生産性を最大化

スキル・稼働状況・経験をもとに、最適な人材を自動で割り当て。ムダのない人員配置で、作業効率と生産性の向上を実現。

力量に基づく評価で組織力を底上げ

個々のスキルや資格を見える化し、配置と評価に反映。力量に応じた育成計画と適材適所を実現。

人員配置最適化AIシステム



研究開発AIエージェント「リアラボAI」

知識を探索するAIと装置を動かすAIで
仮説立案から装置実行までを一気通貫

リアラボAI Omics Insight

論文・実験記録から仮説を導く



論文・ノートを横断検索
公開論文や社内の実験記録・研究ノートから、必要な情報をまとめて抽出



仮説候補と根拠を整理
抽出した知見をもとに、検証すべき仮説候補と、その裏付けとなる根拠を整理



処方・実験計画を提案
仮説を検証するための処方候補や実験条件、実施手順を具体化

リアラボAI Orchestrator

計画をロボット実行へ変換



自然言語で実行指示
実験内容や条件を会話形式で伝え、複雑な装置操作やプログラミングを簡略化



AIが手順・条件を生成
指示内容を、実験装置が実行できる工程とパラメータへ自動で変換



実験ロボットを制御
生成した手順に沿って実験装置を動かし、実行結果や装置ログを記録

知識蓄積・改善



標的探索（ドライ実験 | データ解析）

処方開発（ウェット実験 | ラボ実験）

研究開発AIエージェント

リアラボAI

AI連帯中...

リアラボAI

Powered by ChemSpeed AI

新しい会話

チャット設定

オンライン

あなた

10:30

この条件で分注を開始してください。

リアラボAI

10:30

分注を開始します。

- ・分注量：10.0 mL
- ・分注速度：2.0 mL/s
- ・サンプル数：24検体
- ・ヘッド：5ch分注ヘッド

実行準備が完了しました。

導入事例 手作りお菓子の外観検査



メキキバイト

「何万枚」もの目視検査を、再現性のある運用へ

概要 老舗洋菓子メーカー・銀座ウエスト様にて、包装後製品の外観検査をAI×光学設計で自動化。検査基準の再現性を高めつつ、検査体制の省力化と継続的な運用改善を実装。

開発背景・課題



メキキバイト導入前の目視検査の様子

何万枚もの検査を人の目で対応していた

人員不足と長時間労働 繁忙期は多くの人員が必要となり、担当者が深夜まで残業し、月間の残業時間も相当な時間数に。

生産性の限界 検査に人員を集中させるため、製造から梱包まで全体の生産効率に影響が発生。

検査品質のばらつき 目視ゆえの見落とし、疲労による精度低下、新人育成とスキル平準化も困難になっていた。

機能概要・導入効果



リーフパイのサイズに合わせたガイドで回転や乱れを防止。広台設置により効率的な作業にも対応



昇降コンベア+スライドシュートでワーク損傷を抑えつつ回収性を高め、他工程製造～包装に効率よく連動。

メンテナンス性への配慮

- 片側集約設置でメンテ容易に
- 砂糖・破片対策として照明へ定期エアブロー機能を設置
- 清掃性を重視し光学機器は下下稼働可能な形式に

導入後のサポート

導入初期の想定外にもウエスト様と二人三脚で日次連絡・週次現地対応を重ね、現場合意の品質管理基準まで伴走。その過程で強い信頼関係を築きました。

数字で見る導入後の劇的な変化

配置最適化・生産性向上 検査工程に多くの人員を割いていたが、AI導入により同工程をわずかな人数に削減

残業時間の大幅削減 検査工程：繁忙期の22時頃までの残業が、**ほぼ残業なし**に改善
製造工程：月間残業時間が大幅に削減（約20%減）

検査精度の向上

NG画像の選択同期→Hutzper Insight上で
の学習・品質管理により、**使うほど精度が向上する**運用へ。

川崎重工業株式会社とモビリティ組み立てラインにおける行動分類AIの構築

ビジネスアイデアの概要

AIをはじめとしたテクノロジーの積極的な導入を目指す川崎重工株式会社と弊社は、関連会社であるカワサキモータース株式会社の組み立てラインに設置されたネットワークカメラの動画から、行動(正味/付帯/手待ち作業)进行分类するAIモデルを構築。

骨格検出を用いない分析手法を用いることにより、ツールなどの障害物に影響を受けにくい形で行動进行分类。動的に各行動の時間を測定可能なシステムを構築することで、さらなる生産性の向上を目指す。

導入事例 研究開発 AIエージェント



リアラボAI

ロート製薬株式会社との共同開発による 研究開発AI『リアラボAI』

概要 リアラボAIは、当社技術顧問・金出武雄教授（カーネギーメロン大学）の監修のもと開発した統合型AIエージェントです。

開発背景・課題

- 標的探索段階でのデータ探索・解析設計、処方設計→実験実行
- 膨大なデータベースから目的に適したデータを探し出す作業
- 解析のための前処理やパラメータ調整
- 処方設計のための情報収集
- 実験手順の作成や実験ロボットへのプログラム実装

これらの非創造的な作業に**多大な時間**が費やされ、かつプロセスが**属人化**しているため、解析の再現性確保や専門ツールの利用が一部の研究者に限定されていた。

機能概要・導入効果



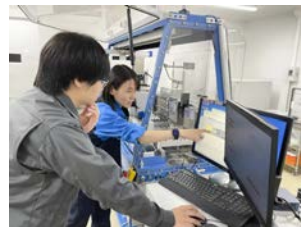
自然言語対話で**データ探索→解析→処方設計→実験ロボット制御**までを連続実行し、ドライ×ウェットを跨ぐ統合型AIエージェントを開発することにより、**属人作業の標準化と再現性向上**を実現。

今後の展望

CEATEC AWARD 2025 ネクストジェネレーション部門の受賞を機に、医薬・化粧品・食品などヘルスケア/バイオ領域への社会実装を加速し、共創領域の拡張（化学・材料等）と、標準化プロトコル/運用指標の確立を目指します。また、展示・共同実証を通じた導入モデルの磨き込みと横展開を想定しています。



CEATEC AWARD 2025 ネクストジェネレーション部門を受賞



開発の様子

導入事例 港湾コンテナターミナル内在庫予測システム

Forbes
Xtreprenur
AWARD
2024

Forbes
Xtreprenur
AWARD
2024

「Forbes JAPAN Xtreprenur AWARD 2024」
ノミネートプロジェクト

Xtreprenur

食品製造業

物流

製造業

ゼネコン

一次産業

医薬品

 Hutzper

CUSTOM
Hutzper Ai

AIを利用した港湾コンテナターミナル内 在庫予測システムの開発

ビジネスアイデアの概要

山九株式会社・株式会社インフォセンスとの三社共同開発プロジェクト

東京港にて、将来1ヶ月間のAIを用いたコンテナ在庫予測を実施。

過去実績データや航路情報、経済指標を活用して予測することで高精度を実現。

本システムを他港の各港湾利用会社にも展開することで、共通の予測結果を元にターミナルオペレーションを効率化し、待機時間やバンプール退避時間の短縮を図り、全体最適を目指す。

導入事例 物流倉庫でのスキルパズル活用



属人化していた人員配置業務をスキルパズルで標準化

開発背景・課題

- シフト取り纏め作業+配置計画作業に時間がかかる (6-7時間/週間+α)
- 毎日のように突発休暇者がいるのでその都度組み換え作業が発生し手間がかかる
- スキルや人的相性を把握している方が1名しかおらず、配置計画作業が属人化している

Before



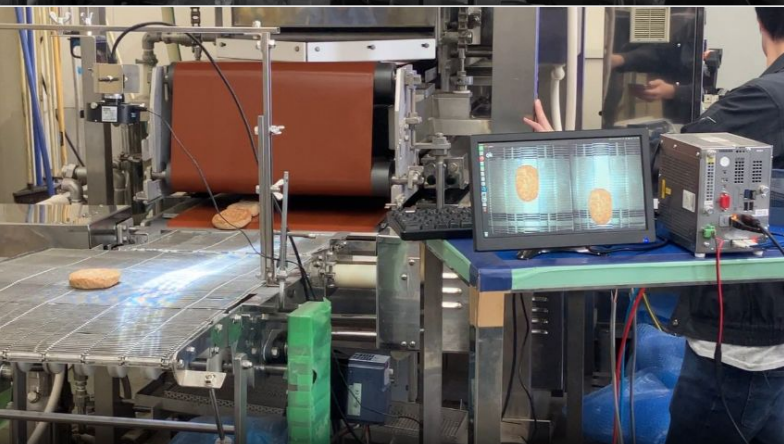
管理者は紙ベースでシフト希望を集約。
 作業員のスキルや相性を考慮し、1週間単位で人員配置を計画。
 完成した計画は、紙で日別に掲示し現場へ通知していた。

After



- シフト取りまとめ作業+配置計画作業の省力 (**1時間/週間**)
- スキルマップの形式化、配置計画作業の標準化
- 突発休発生時の組み換え作業の迅速化

導入事例 不良ゼロのスマートファクトリー実現を目指した取り組み



TOSHIBA SunMax

食品製造業

物流

製造業

ゼネコン

一次産業

医薬品



クラウド型PLCと外観検査AIを活用した歩留まり改善システムの実証実験

東芝インフラシステムズ株式会社「Meister Controller Cloud™ PLCパッケージ typeN1」と製造業向け外観検査&品質管理AI「メキキバイト」を活用したスマートファクトリーの実現

連携設備：サン・プラント工業株式会社「焼成機/SM-TGC450-2000」

ビジネスアイデアの概要

複数工場/複数機器から収集される大量のデータを利用して、各工場/工程における最適製造条件をAI活用で算出し、クラウド型PLCで一括制御をおこなうことで、工程の省人化・歩留まり改善を図るシステムを構築する。

食品加工機械メーカーのサン・プラント工業株式会社ご協力のもと、上記構想の第一段階として、ハンバーグの焼き具合(生焼け/正常/焦げ)を判定し、ローカルで自動調整するシステム構築の実証実験を実施。

外観検査AIで焼き具合判定・不良品排除→クラウドサーバー上で不良品発生原因をAI分析し、最適条件の算出→オープンの温度・スピードをクラウド型PLCによりコントロール。

今後は工程全体の機器、複数工場にまたがるデータを収集・制御し、そもそも不良を作らない工場、省人化を実現したスマートファクトリーの実現で、食品ロスなど事業系廃棄物の削減を目指す。

導入事例 安全対策

食品製造業

物流

製造業

ゼネコン

一次産業

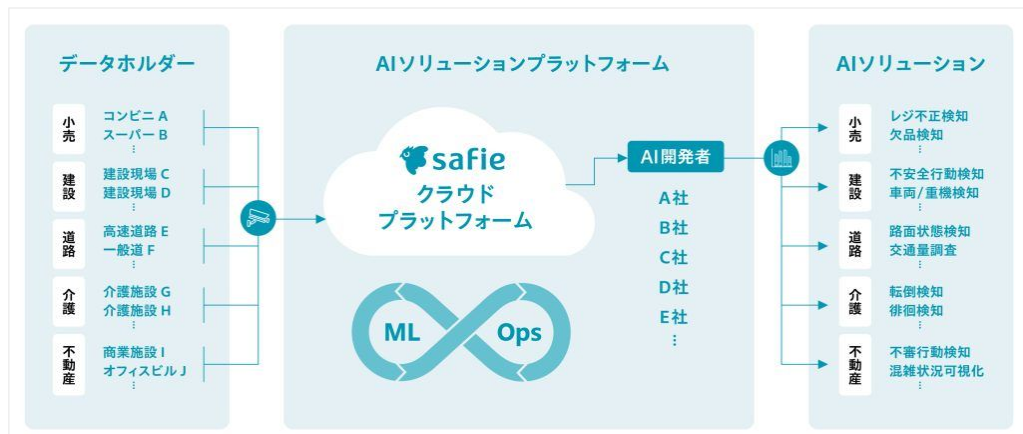
医薬品

Hutzper

映像 × AI で「現場の危険」を見える化する

概要

クラウド録画サービス国内シェア No.1・セーフイー株式会社との事業連携
建設現場における不安全行動検出 AI の共同開発（NEDO公募採択）



導入事例 3Dアニマルツイン技術を用いた 牛の体重／採食量推定システム



Marubeni × **Hutzper**

食品製造業

物流

製造業

ゼネコン

一次産業

医薬品

Hutzper

一次産業にAIの眼と脳を

概要

- 3D画像解析技術を活用し、カメラ1台から牛の体重および採食量を非接触で推定
- 飼育現場の労働負荷削減・家畜データの可視化を実現

撮影

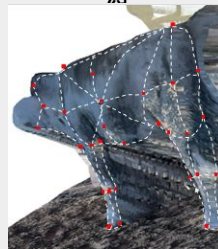
RGBDカメラで撮影



非接触

各部位の 表面長を計測

表面上での距離を計測



体重/採食量算出

- 140を超える空間特徴量の取得
- 月齢や種別、性別といったメタデータをもとに体重を算出
- 完全ローカルにて高速に判定



データ蓄積

- BeecoProgramプラットフォーム※での管理・運用
- 現場の情報をタイムリーに飼料会社、金融機関等に共有



項目	内容
社会課題	畜産業の人手不足／成長把握が不完全
技術的優位性	周回することなくカメラ1画角から高速に判定／固定式にも対応
将来展望	飼育最適化・疾病予測／他分野（物流・建機）へ展開

※生産者、飼料会社、獣医師等向け丸紅プラットフォーム<https://beeco.eco/>